

令和 9 年度

自然公園等整備工事予算単価

令和 8 年 6 月

環境省自然環境局自然環境整備課

目 次

第 1	地域別工事費指数	1
第 2	標準予算単価	1
第 3	標準予算単価算出基準	1
(表－1)	自然公園等整備工事標準予算単価（1）	2
(表－2)	自然公園等整備工事標準予算単価（2）	3
(表－3)	自然公園等整備工事標準予算単価《参考》	4

この自然公園等整備工事予算単価は、自然公園等整備工事における予算要望時の算出を統一かつ適正に行えるよう、基準となる単価及び概算方法等を定めたものである。
自然公園等予算単価の採用条件を以下に示す。

第1 地域別工事費指数

地域別工事費指数については、国土交通省大臣官房官庁営繕部作成の「令和9年度新営予算単価」第1 地域別工事費指数によるものとする。

第2 標準予算単価

- 1 自然公園等整備工事にかかる標準予算単価（表－1）及び（表－2）による。
- 2 本表は、東京（地域別工事指数100）における建物等の標準予算単価（消費税等相当分は除く。）を示す。
- 3 本表は、個々の計画内容を考慮して適用する。本表を適用できない場合又は本表に単価の表示がない項目等については、実情に応じて補正計上する。
- 4 （表－1）は、自然公園等内で建設される木造建物等の、延面積1㎡当たりを円単位で示す。
- 5 （表－2）は、自然公園等内で建設される工作物等の、延面積1㎡当たり及び1基当たり等を円単位で示す。

第3 標準予算単価算出基準

- 1 標準予算単価に別途計上・加算及び補正等がある場合は、国土交通省大臣官房官庁営繕部作成の「令和9年度新営予算単価 第3 標準予算単価算出基準」に該当するものとする。
- 2 特殊工法の採用及び特殊運搬（ヘリコプター等）・人力運搬等が必要な場合は、別途算出し計上する。

(表－１) 自然公園等整備工事標準予算単価（１）

[単位：円／㎡]

小分類	建築	電気設備	機械設備	計	備考
博物展示施設	741,910	87,170	99,040	928,120	
四阿 (園地付帯施設)	340,000	—	—	340,000	
四阿（小規模） (歩道付帯施設)	765,930	—	—	765,930	
便所	726,750	91,200	181,570	999,520	
し尿浄化設備	—	—	—	—	※ 1
管理棟 (野営場付帯施設)	—	—	—	—	博物展示施設と 同じ

注 1：□博物展示施設には、ビジターセンター、エコミュージアムセンター、休憩所、その他これらに類するものが含まれる。

注 2：四阿（小規模）とは延べ面積 15 ㎡以下をいう。

注 3：博物展示施設等の展示工事は別途計上する。

注 4：建築物の構造は木造とする。

※ 1 国土交通省新営予算単価 第 3 標準予算単価算出基準 4 機械設備工事
(2) 給排水衛生設備 エ し尿浄化設備 参照

(表－２) 自然公園等整備工事標準予算単価（２）

[単位：円]

番号	名 称	仕 様	単位	単 価	参考図
1	舗装工※1	砂利敷 t150	m ²	2,590	1
2		ダスト舗装 t40	m ²	8,430	1
3		アスファルト舗装（車道）t40、路盤t100	m ²	11,520	1
4		コンクリート舗装（車道）t100、路盤t150	m ²	11,580	1
5		インターロッキングブロック舗装（歩道）t60、路盤t100	m ²	29,080	2
6		インターロッキングブロック舗装（車両）t80、路盤t150	m ²	31,470	2
7		縁石工H150、W150	m	11,820	1
8	排水工	U300グレーチング蓋付	m	25,150	3
9		横断工（木製）	m	8,370	4
10	階段工	丸太階段 W1,000	段	42,720	5
11		丸太階段 W1,500	段	79,880	5
12		石階段 W1,000	段	101,110	6
13	木道工	木道 W500	m	54,350	7
14		構造型木道 W500	m	106,300	8
15		構造型木道 W1,200	m	168,110	9
16		構造型木道 W1,200（軟弱地盤）	m	366,530	10
17		構造型木道 W1,800	m	224,970	11
18		構造型木道 W1,800（軟弱地盤）	m	422,150	12
19	柵工	ロープ柵H600	m	10,400	13
20		木柵 H700	m	50,560	14
21		木柵 H1,100	m	109,710	15
22		スチール柵 H1,100	m	45,240	16
23	土留工	木製 H400	m	27,550	17
24		フトン籠 H500	m	24,780	18
25	石積工	練石積 H1,000	m	77,230	19
26	植生工	張芝	m ²	2,790	20
27	野外卓ベンチ	合成木材	基	1,146,350	21
28	ベンチ	木製	基	404,450	22
29		合成木材、アルミ製	基	184,530	23
30	入口標識	道路標識(1)H6,050盤面2,250×900、RC基礎	基	3,677,950	24
31		道路標識(2)H3,550盤面1,450×1,050、RC基礎	基	1,946,400	25
32		道路標識(3)H3,900盤面500×3,000、RC基礎	基	1,895,850	25
33		記名標識(1)H1,062盤面1,950×900、RC基礎	基	1,744,180	26
34		記名標識(2)H850盤面1,560×720、RC基礎	基	1,365,010	27
35		記名標識(3)H1,663盤面1,200×1,500、RC基礎	基	1,984,320	28
36		記名標識(4)H1,330盤面960×1,200、RC基礎	基	1,428,210	29
37	資源名標識	H1,300、RC基礎	基	448,690	30
38		H1,300、根枷	基	434,780	31
39	総合案内標識	H1,950、盤面1,950×900、600×900、RC基礎	基	2,894,330	32
40	案内図標識	H1,950、盤面1,200×900、RC基礎	基	1,592,510	33
41	誘導標識	誘導標識(1)、H1,300、腕木、RC基礎	基	638,270	34
42		誘導標識(1)、H1,300、腕木、根枷	基	625,630	35
43		誘導標識(2)、H1,300、単柱、RC基礎	基	448,690	36
44		誘導標識(2)、H1,300、単柱、根枷	基	434,780	37
45	注意標識	H1,300、盤面600×400、RC基礎	基	645,850	38
46		H1,300、盤面600×400、根枷	基	633,220	39
47	境界標式	H1,300、単柱、RC基礎	基	418,340	40
48		H1,300、単柱、根枷	基	395,610	41

※1 舗装工には排水工、ラインを含まない

(表－３) 自然公園等整備工事標準予算単価《参考》

[単位：円]

名 称	仕 様	単位	単 価	参考図
舗装工	木チップ舗装	m ²	29,080	42
石積工	石積 H1.0m 空石積み	m	23,000	43
橋	木橋 L3.0m、W1.5m	箇所	3,147,110	44
橋	木橋 L6.0m、W1.5m	箇所	6,028,810	45

注. データ不足等のため、参考価格とする。

(参考資料－１) 標識の盤面単価・材料単価内訳

[単位：円]

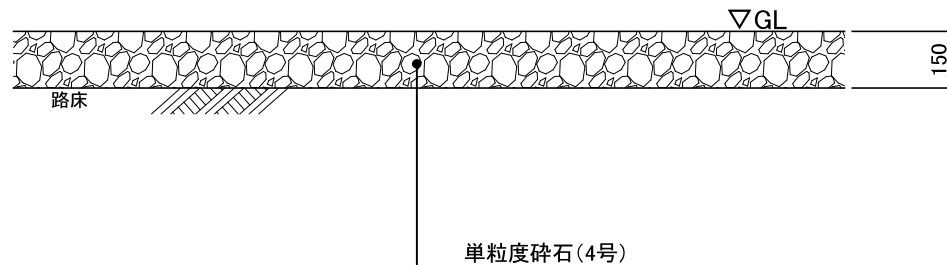
名 称	仕 様	盤面単価	木材単価	参考図
入口標識	記名標識(1)H1,062盤面1,950×900、RC基礎	679,980	319,770	26
	記名標識(2)H850盤面1,560×720、RC基礎	511,870	242,660	27
	記名標識(3)H1,663盤面1,200×1,500、RC基礎	859,460	307,140	28
	記名標識(4)H1,330盤面960×1,200、RC基礎	546,000	250,260	29
資源名標識	H1,300、RC基礎	93,530	92,270	30
	H1,300、根枷	93,530	98,590	31
総合案内標識	H1,950、盤面1,950×900、600×900、RC基礎	880,940	559,910	32
案内図標識	H1,950、盤面1,200×900、RC基礎	509,360	427,200	33
誘導標識	誘導標識(1)、H1,300、腕木、RC基礎	204,750	112,740	34
	誘導標識(1)、H1,300、腕木、根枷	204,750	119,060	35
	誘導標識(2)、H1,300、単柱、RC基礎	93,530	92,270	36
	誘導標識(2)、H1,300、単柱、根枷	93,530	98,590	37
注意標識	H1,300、盤面600×400、RC基礎	169,360	154,190	38
	H1,300、盤面600×400、根枷	169,360	159,250	39
境界標式	H1,300、単柱、RC基礎	87,210	79,630	40
	H1,300、単柱、根枷	87,210	84,680	41

上記は、(表－２) 番号33～48の盤面と木材の内訳価格とする。

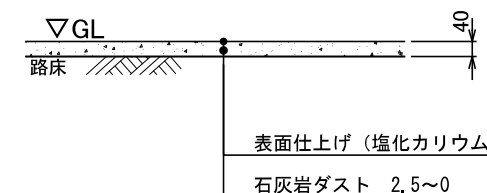
参 考 図

令和 6 年 3 月

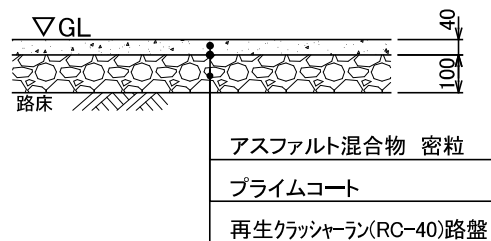
1. 砂利敷き



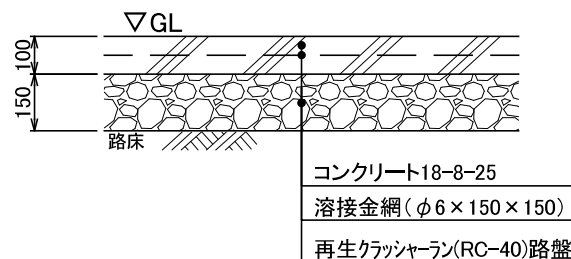
2. ダスト舗装



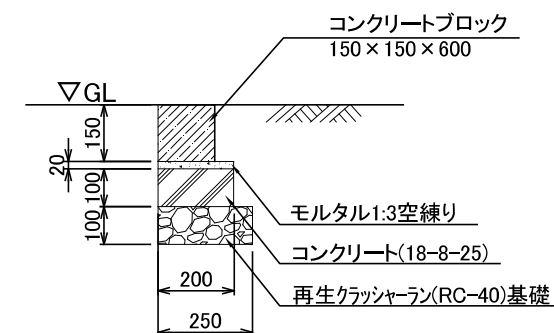
3. アスファルト舗装(車道)



4. コンクリート舗装(車道)

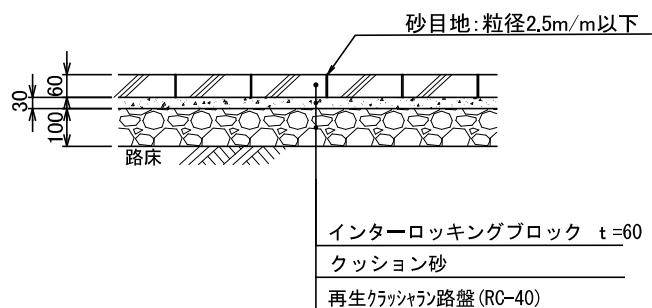


7. 縁石工

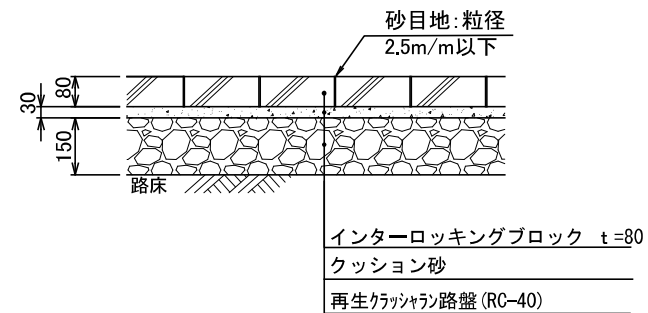


※目地モルタルは1:2、目地幅7mmとする。

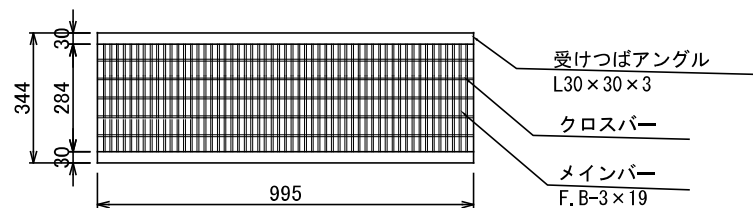
5. インターlocking舗装
(歩道部)



6. インターlocking舗装
(車両)



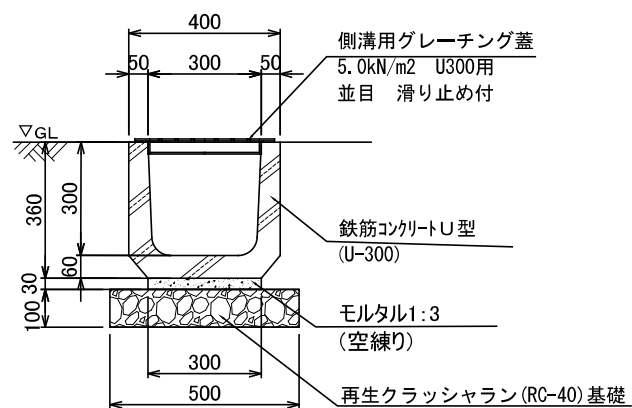
8. U-300 グレーチング蓋



側溝蓋詳細図

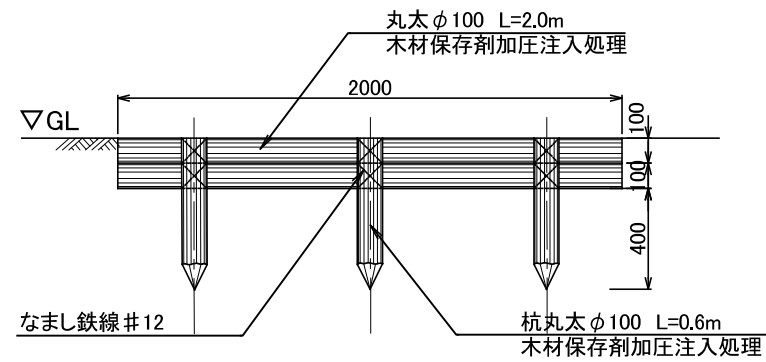
※グレーチング蓋仕様

- ・ノンスリップタイプ
- ・材質: SS-400、溶融亜鉛メッキ処理

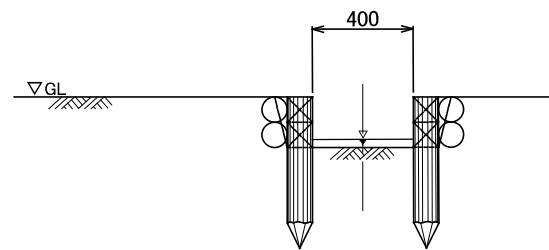


U型側溝断面図

9. 横断工(木製)

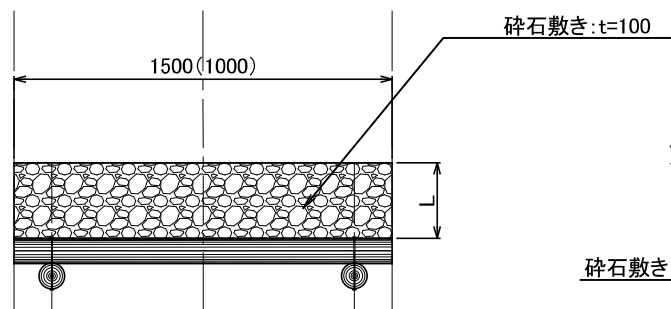


側面図

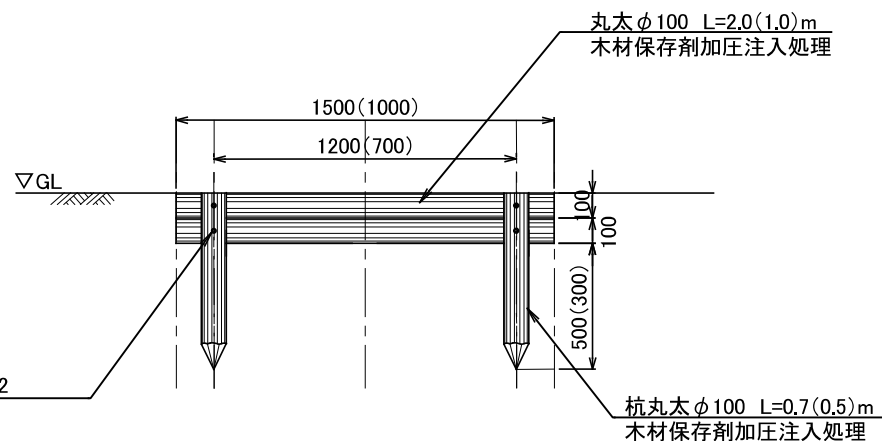
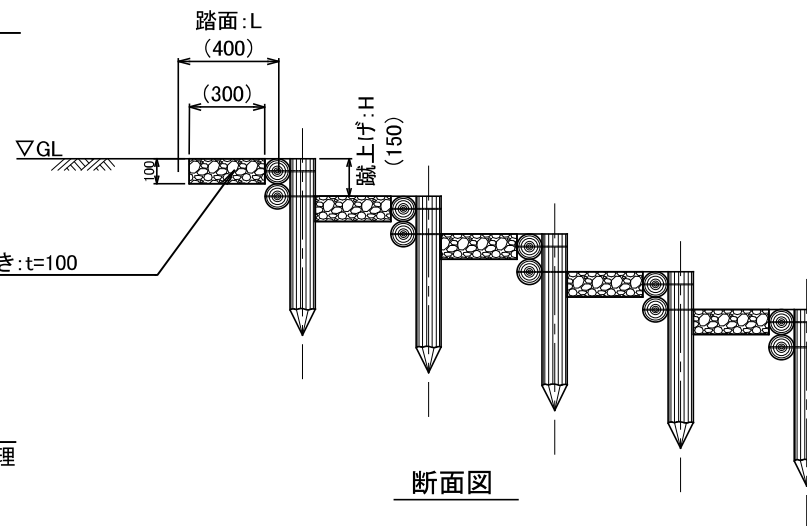


断面図

10～11. 丸太階段
W=1500 (W=1000)



平面図

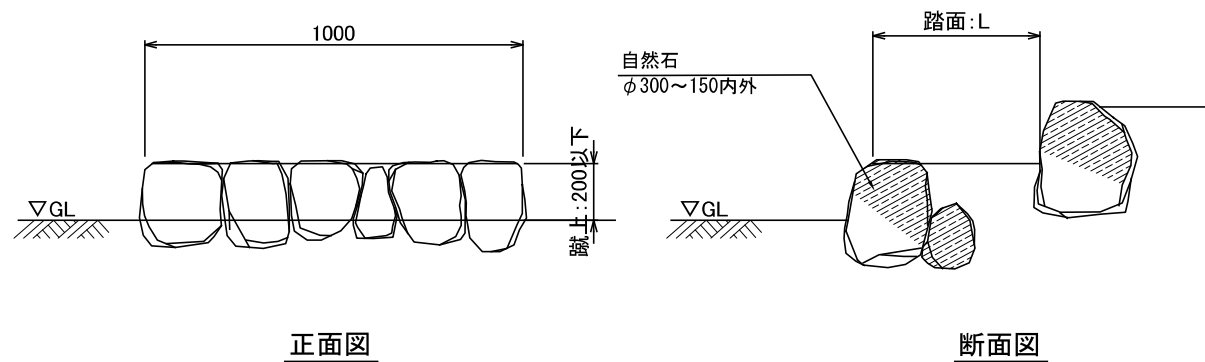


正面図

※丸太は杉材(ロータリー加工)を使用する。
※踏面・蹴上の寸法値()は標準値であり、施工場所の地形・状況により調整すること。

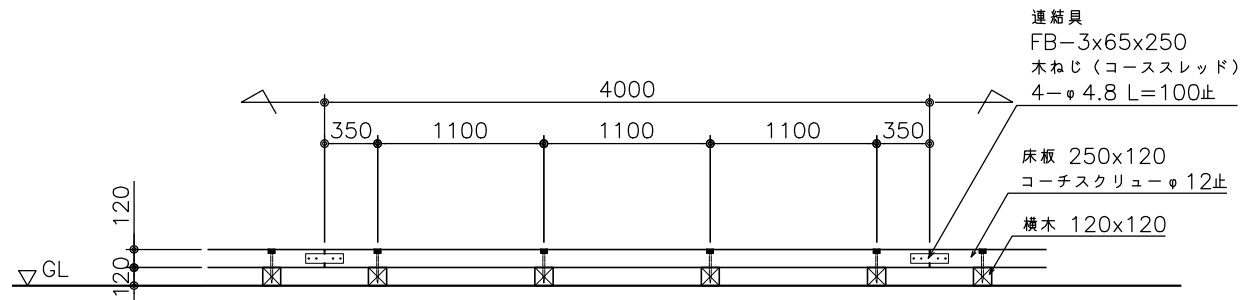
※寸法値の()はW=1.0mの階段とする。
※丸太は杉材(ロータリー加工)を使用する。

12. 石階段

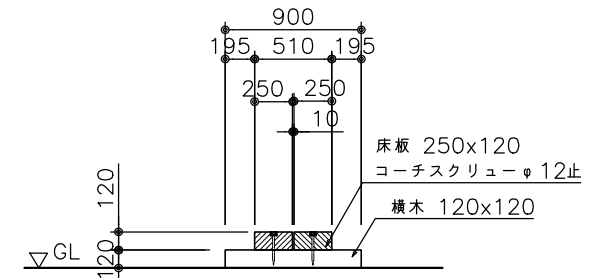


参考情報

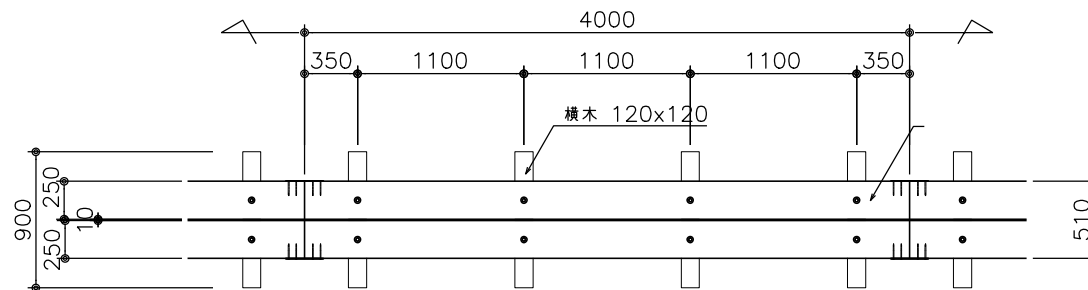
自然石は大割りし、野面石とする。
露出面の鋭角部は、面取りを行う。
石組みに際しては、十分な根入れと詰石などで安定させること。
階段の蹴上・踏面は施工場所の地形に合わせて大幅な地形の
改変を避けるものとする。
1個あたりの重量は、人力施工が可能な70kg以下とする。
石の運搬は小車運搬を標準とする。



側面図 S=1:50



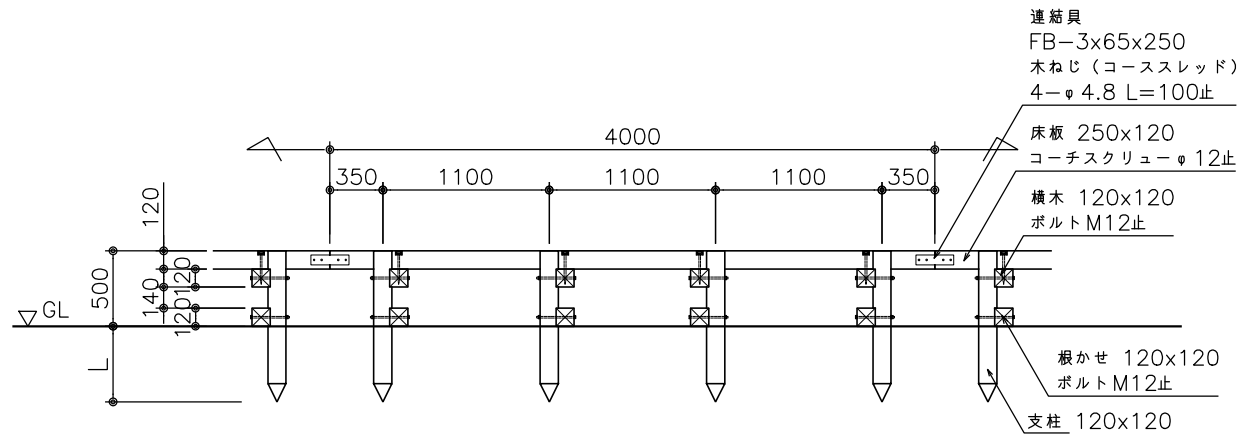
断面図 S=1:50



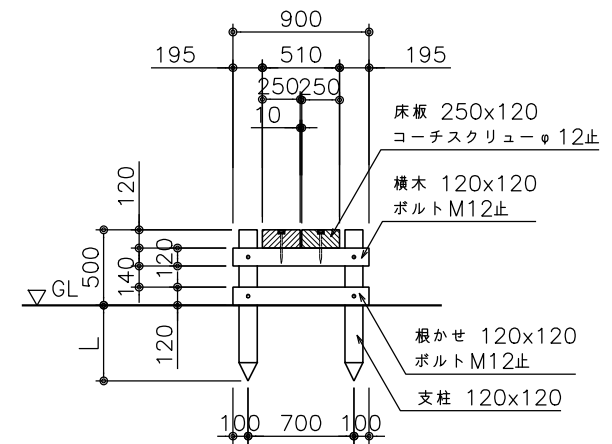
平面図 S=1:50

参考情報

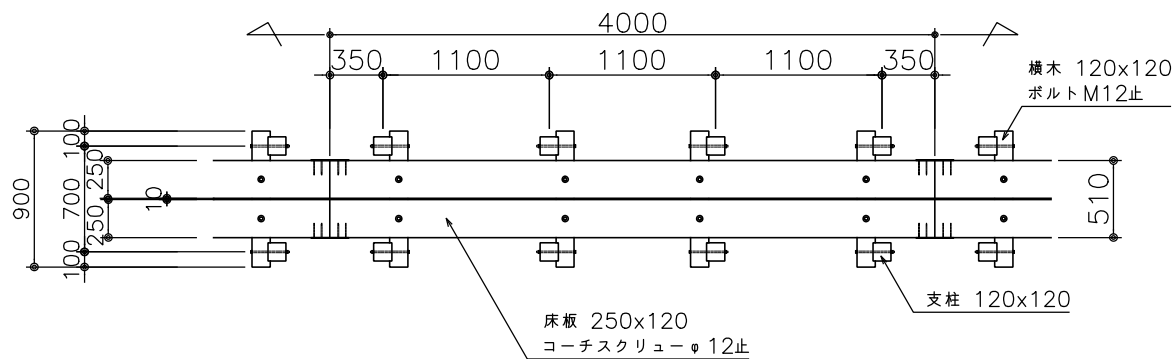
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ボルト類** ボルトは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。
- 積雪は1.0m未満を想定する。
活荷重は 床:3500N/m²、根太:3200N/m²、地震:2100N/m²とする。



側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50

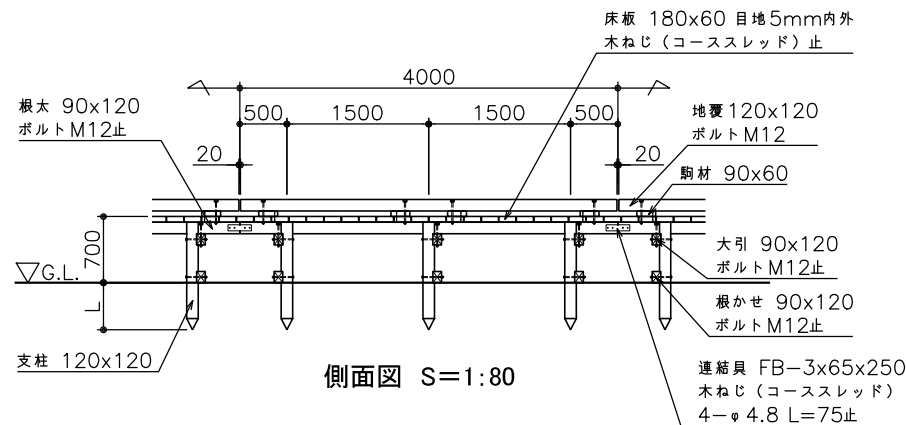
参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
性能区分AQ1種又はJAS K4とする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ボルト類** ボルトは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。
- 積雪は1.0m未満を想定する。
活荷重は 床:3500N/m²、根太:3200N/m²、地震:2100N/m²
支持構造については、構造検討除外とする。
沈下に対する考慮は別途検討のこと。
支柱の径及び長さについては、別途検討のこと。

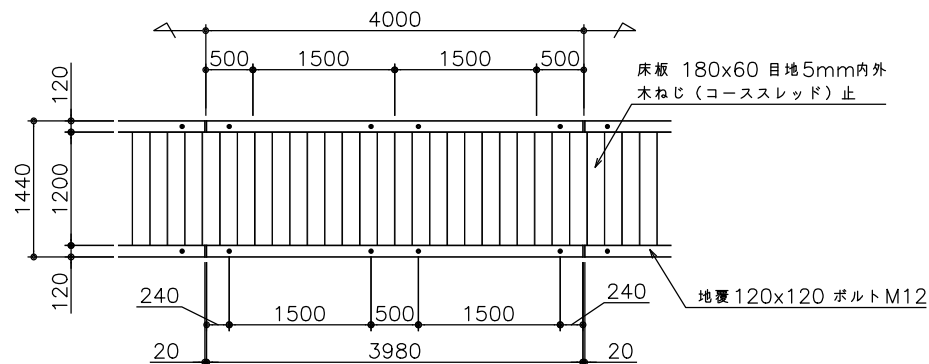
参考図9

15. 構造型木道 W1200

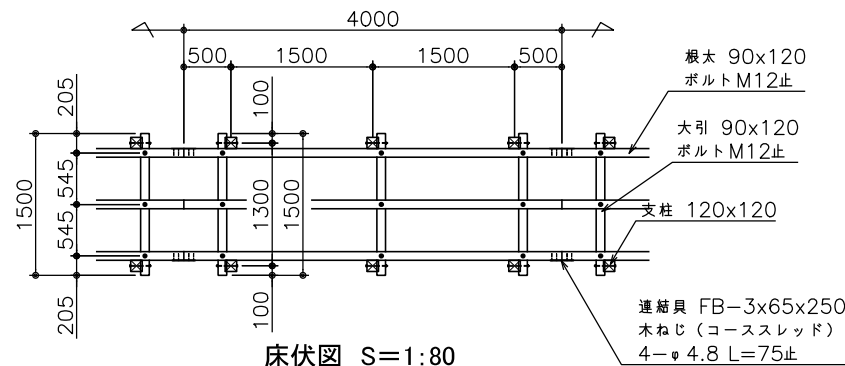
S=1:80(A4)



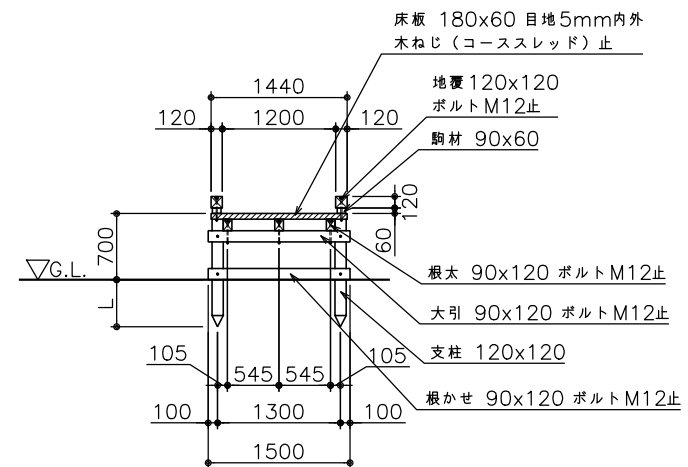
側面図 S=1:80



平面図 S=1:80



床伏図 S=1:80



断面図 S=1:80

参考情報

- 木材 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 鋼材 鋼材は図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ボルト類 ボルトは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

積雪は1.0m未満を想定する。

活荷重は 床:3500N/m²、根太:3200N/m²、地震:2100N/m²とする。

支持構造については、構造検討除外とする。

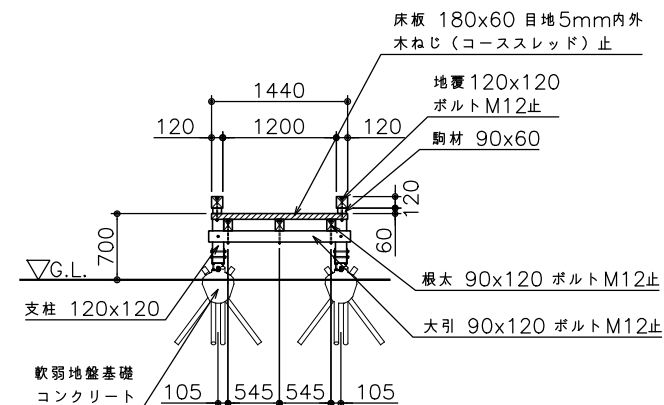
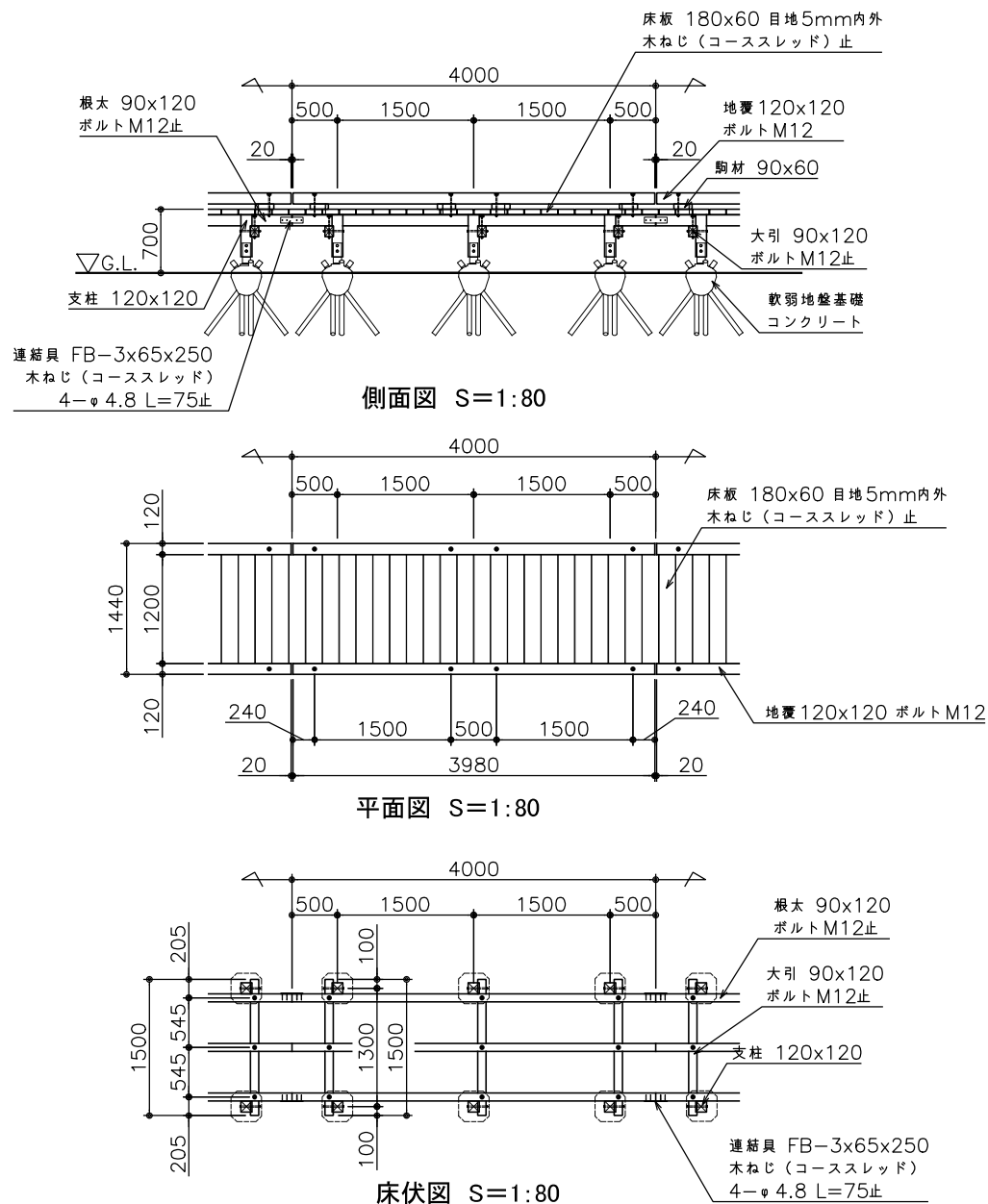
沈下に対する考慮は別途検討のこと。

支柱の径及び長さについては、別途検討のこと。

参考図10

16. 構造型木道 W1200(軟弱地盤基礎)

S=1:80(A4)



参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
性能区分はJAS K4又はAQ1種とする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
ボルトは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

積雪は1.0m未満を想定する。

活荷重は 床:3500N/m²、根太:3200N/m²、地震:2100N/m²とする。

支持構造については、構造検討除外とする。

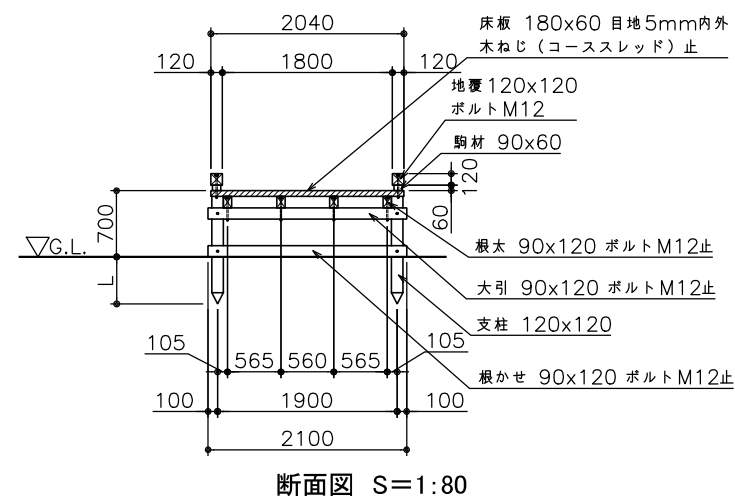
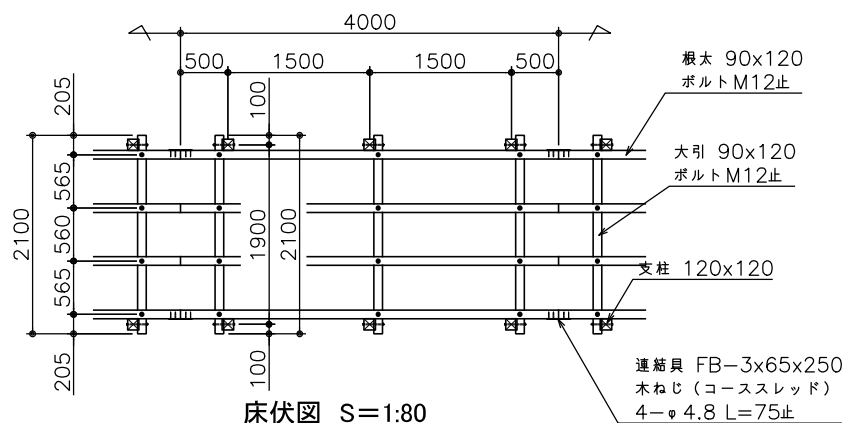
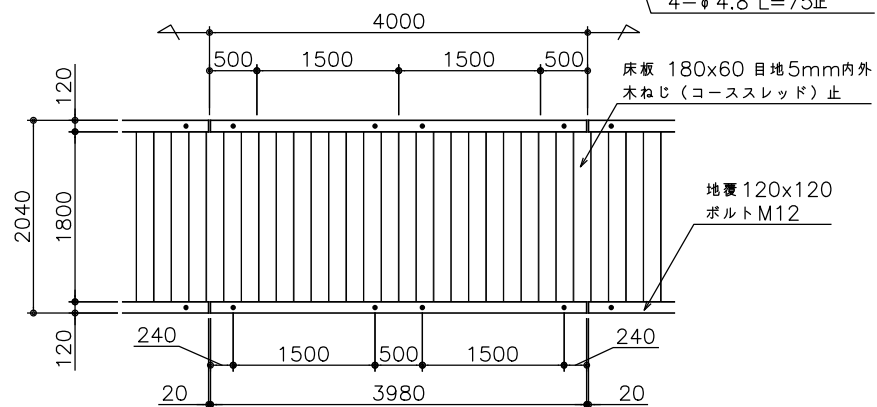
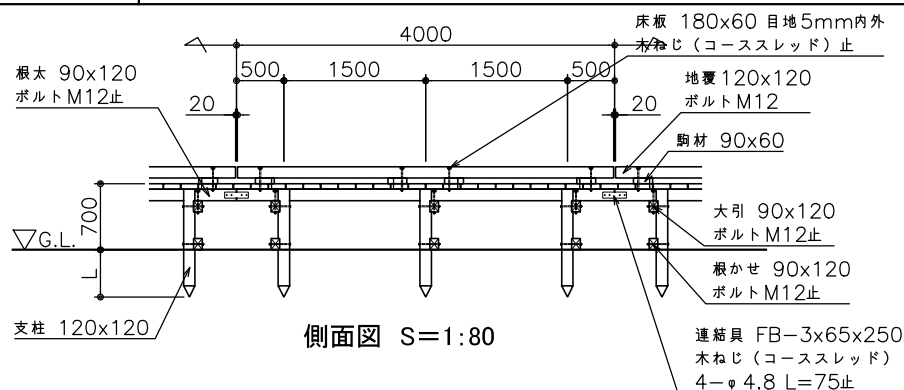
沈下に対する考慮は別途検討のこと。

支柱の径及び長さについては、別途検討のこと。

参考図11

17. 構造型木道 W1800

S=1:80(A4)



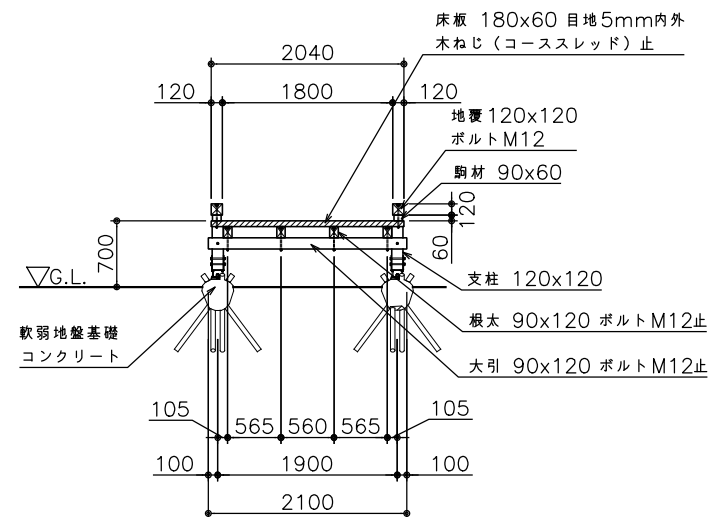
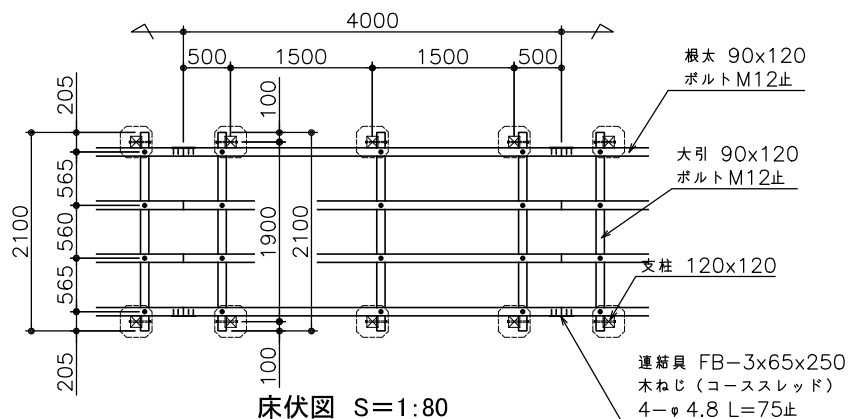
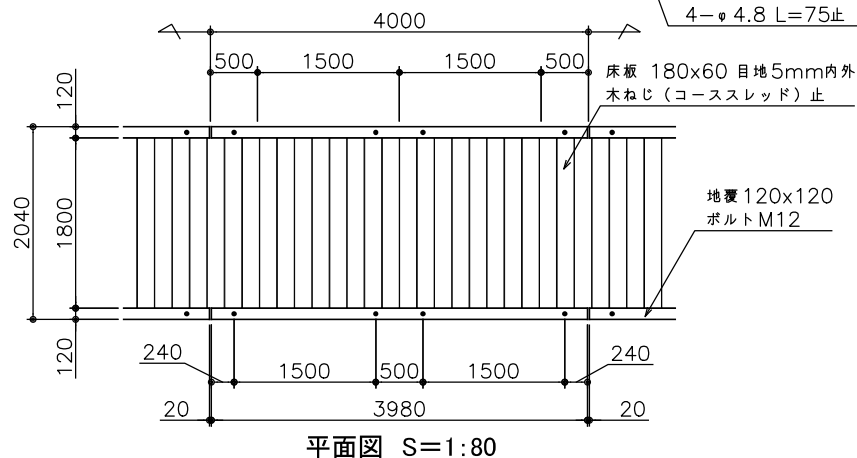
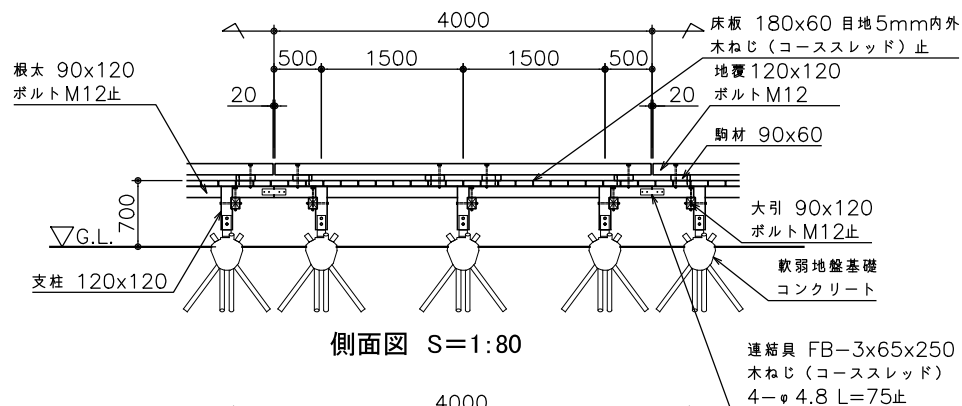
参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、溶融垂鉛めっきとする。
- ボルト類** ボルトは、図示無き限り、溶融垂鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。
- 積雪は1.0m未満を想定する。
活荷重は 床:3500N/m²、根太:3200N/m²、地震:2100N/m²とする。
支持構造については、構造検討除外とする。
沈下に対する考慮は別途検討のこと。
支柱の径及び長さについては、別途検討のこと。

参考図12

18. 構造型木道 W1800(軟弱地盤基礎)

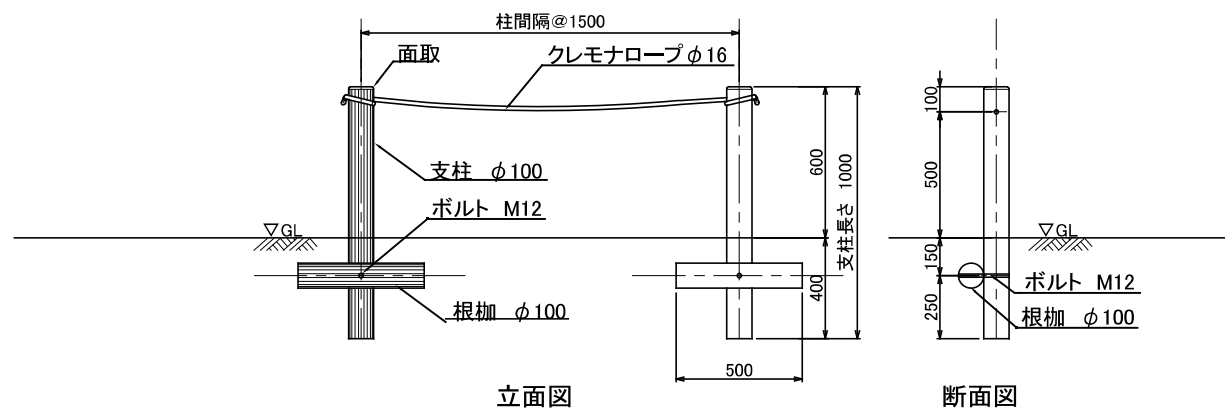
S=1:80(A4)



参考情報

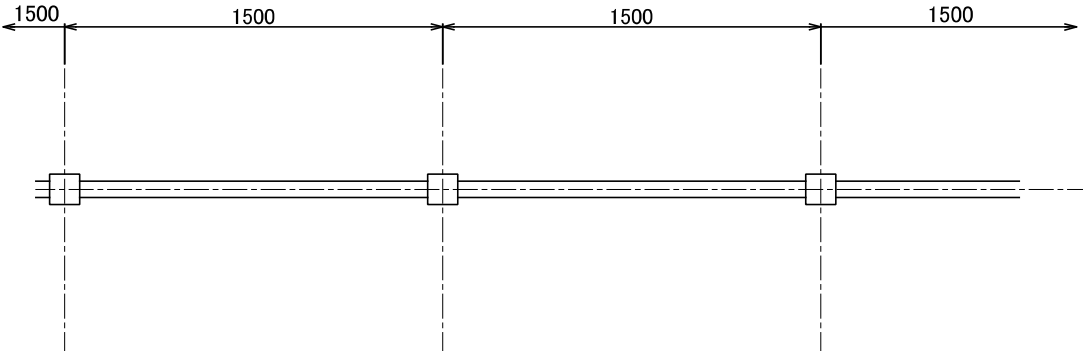
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ボルト類** ボルトは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。
- 積雪は1.0m未満を想定する。
活荷重は 床:3500N/m²、根太:3200N/m²、地震:2100N/m²とする。
支持構造については、構造検討除外とする。
沈下に対する考慮は別途検討のこと。
支柱の径及び長さについては、別途検討のこと。

19. ロープ柵



参考情報

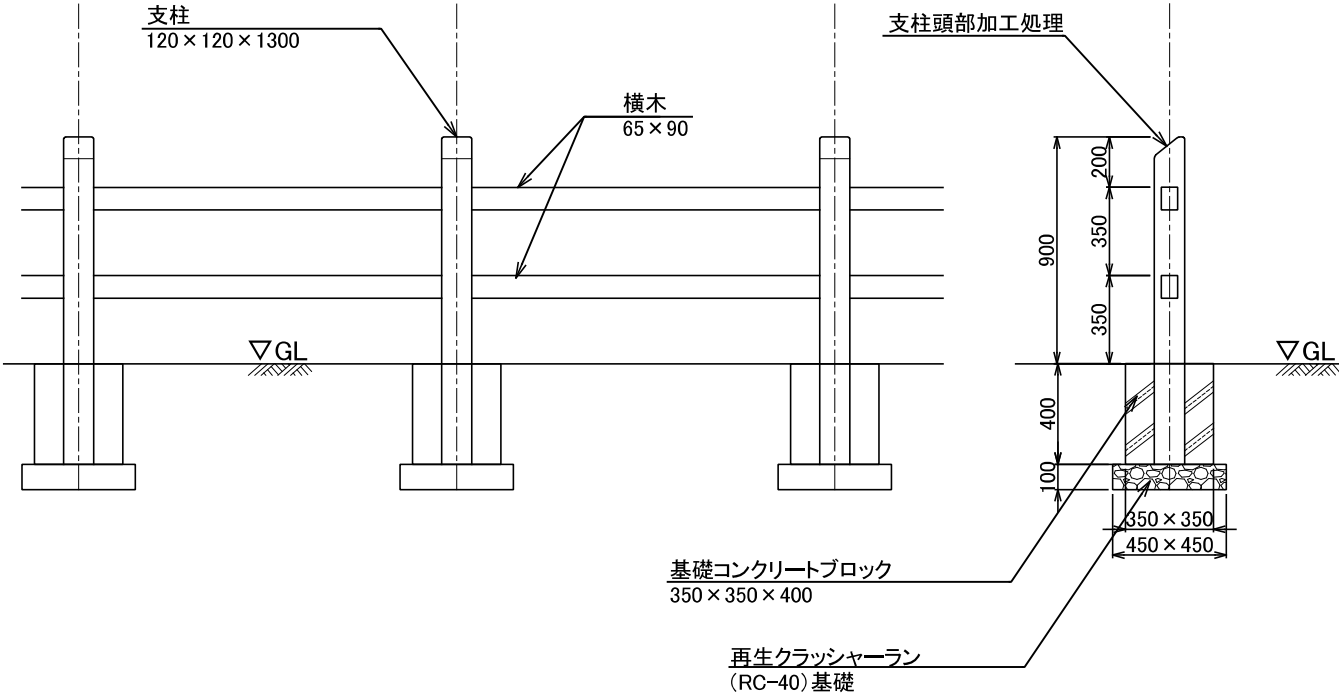
木材は杉材(丸太材はロータリー加工)を使用する。
 木材は薬剤注入に適するように、天然または人工乾燥処理を行う。
 木材は加工後、木材保存剤加圧注入処理する。
 加圧注入方法はJIS A 9002による。
 性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
 木材の見え掛り部は面取りを行う。
 柱は背割りを行う。背割り深さは木材の1/2までとする。
 柱の地際部は上下10cmの範囲に表面処理用防腐防蟻塗布とする。
 ボルトは図示表記がない限り、溶融亜鉛メッキ処理をする。



平面図

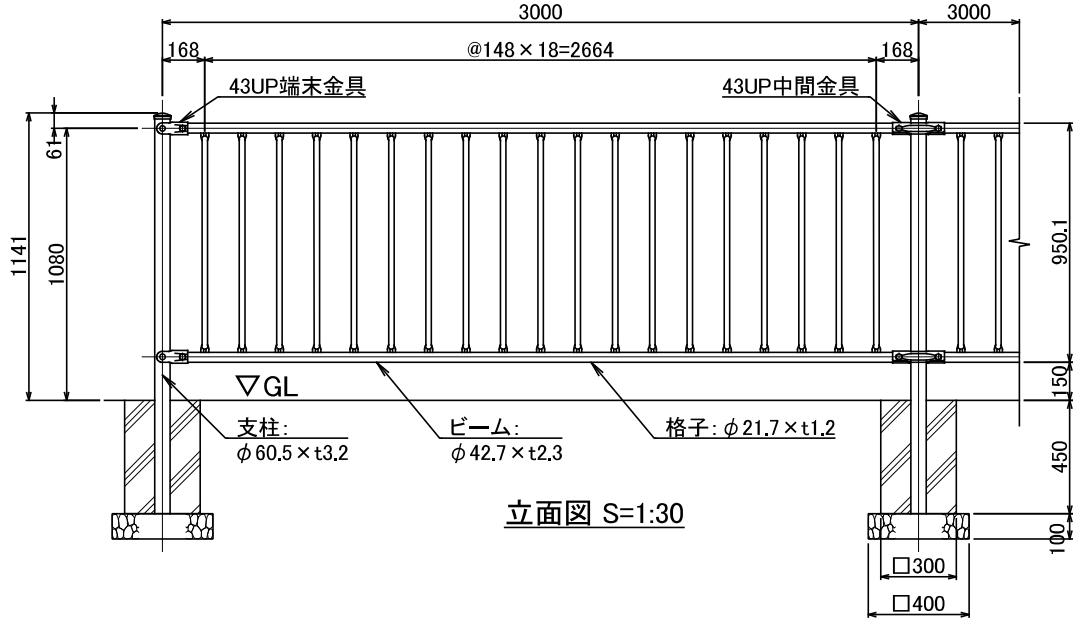
参考情報

木材は杉材を使用する。
木材は薬剤注入に適するように、天然または人工乾燥処理を行う。
木材は加工後、木材保存剤加圧注入処理する。
性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
木材の見え掛り部は面取りを行う。
柱の地際部は上下10cmの範囲に表面処理用木材保存剤塗布とする。

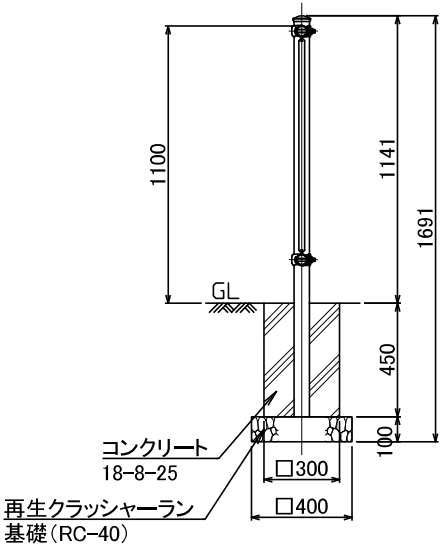


立面図

断面図



立断面図 S=1:30

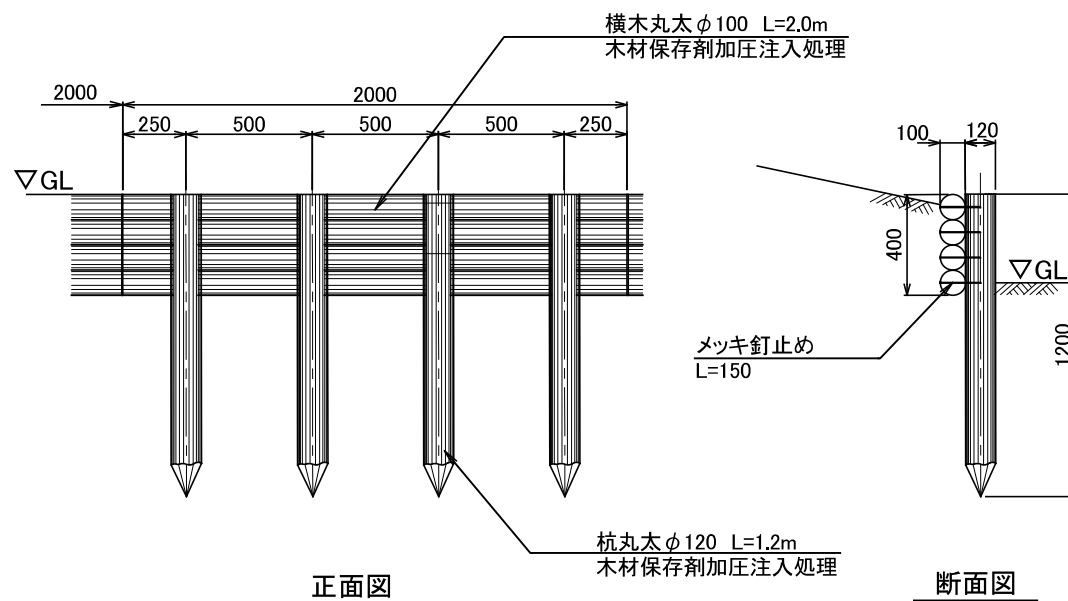


側断面図 S=1:30

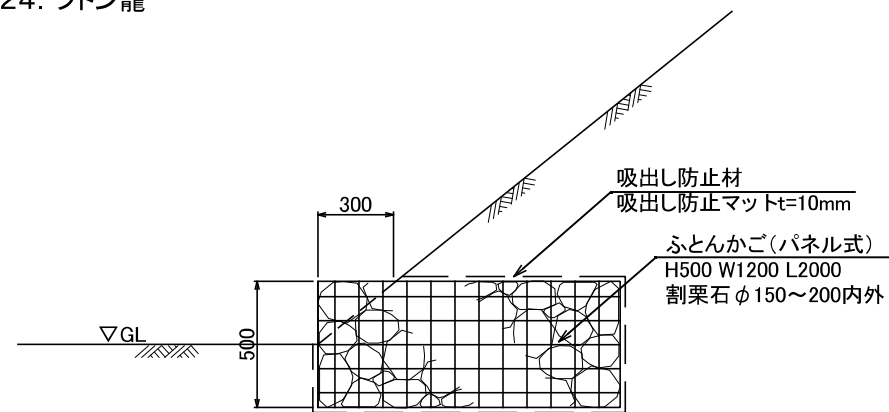
参考情報

品名	材質	摘要
支柱	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
ビーム	SGH490	亜鉛めっき+静電粉体塗装
格子	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
43UP中間金具	SGH400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
43UP端末金具	SGH400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
角根ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×65
角根ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×82
頭部キャップ	PE	着色樹脂

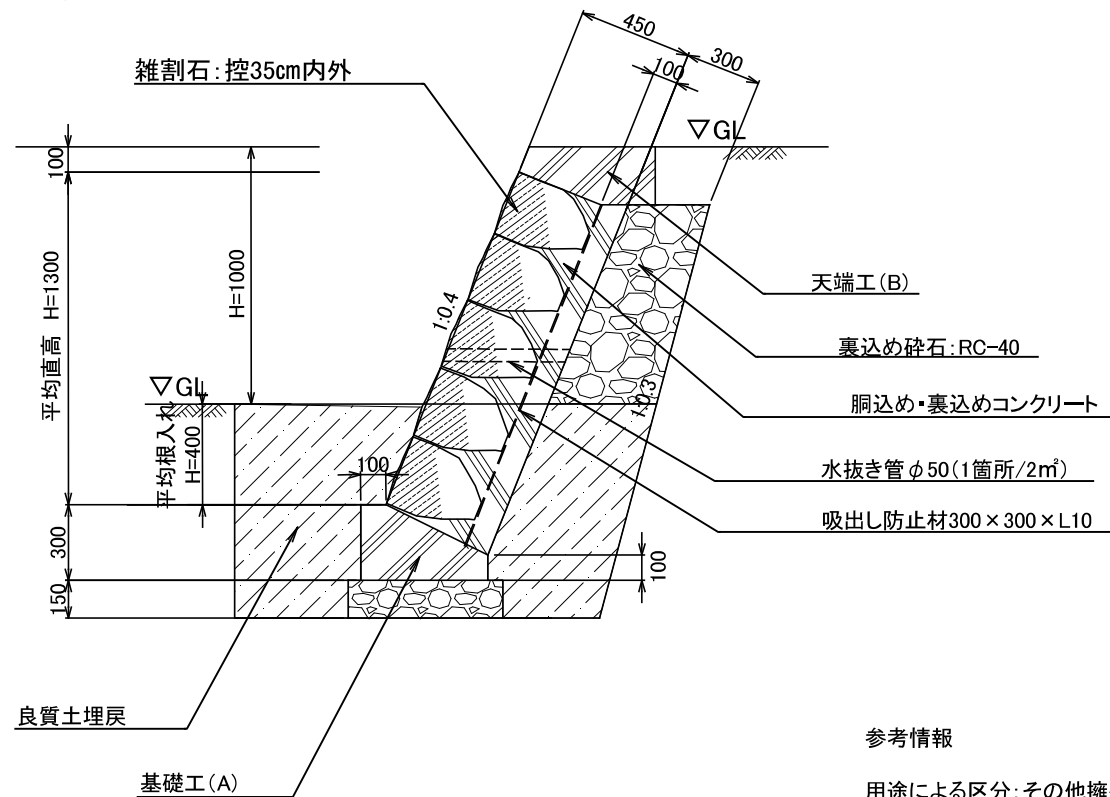
23. 土留工 木製H400



24. フトン籠



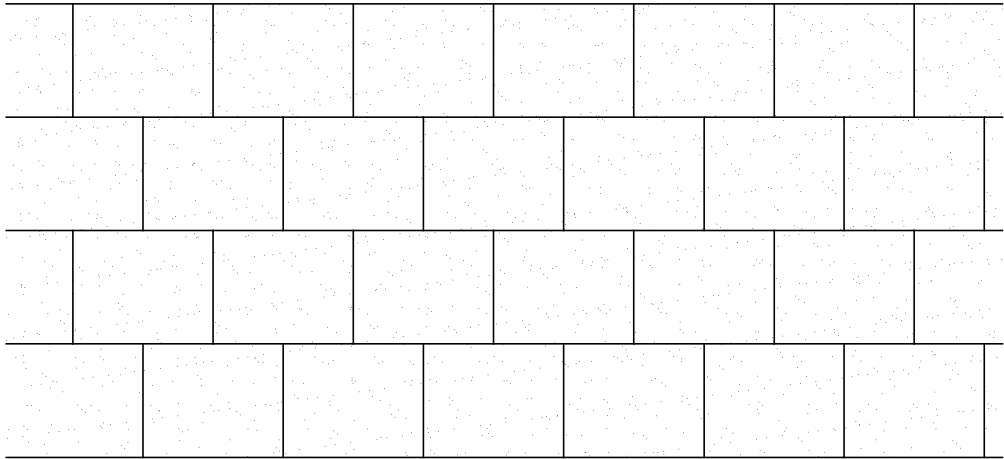
25. 練石積 H1,000



参考情報

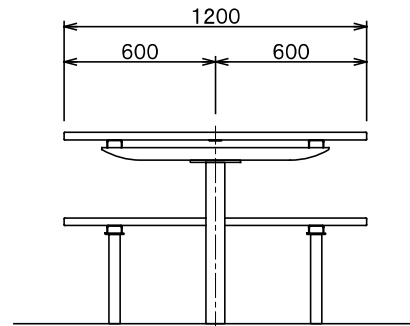
用途による区分: 其他擁壁
 背面土: レキ質土、内部摩擦角 $\geq 35^\circ$
 裏込土の種類: U2 (砂質土)
 根入れ深さ: 30cm以上
 練積ブロック設計要綱 (H25年3月長崎県土木部) より準用

26. 張芝

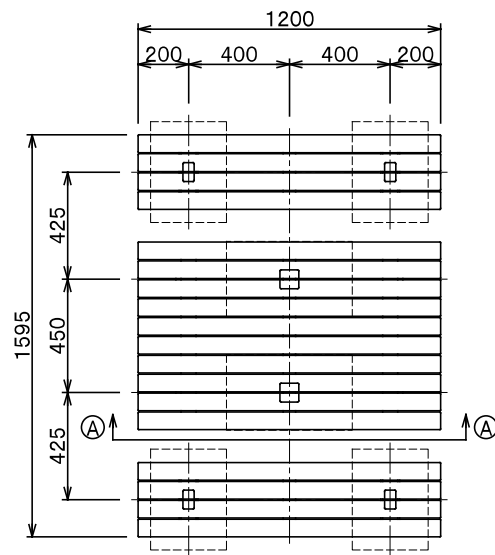


※厚30mmの客土を行うこと

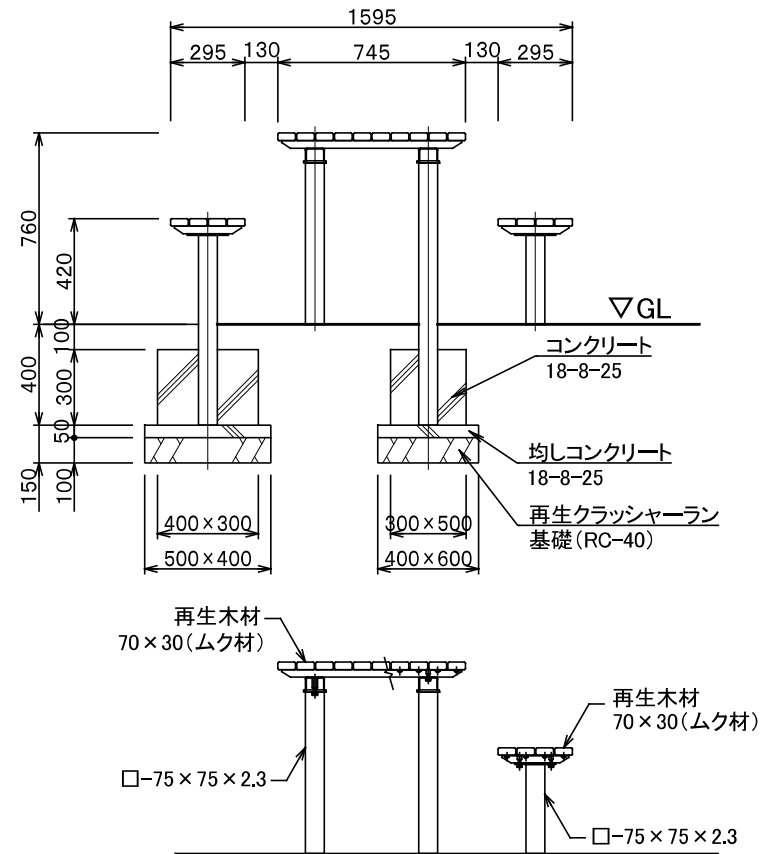
27. 野外卓ベンチ



A-A断面図



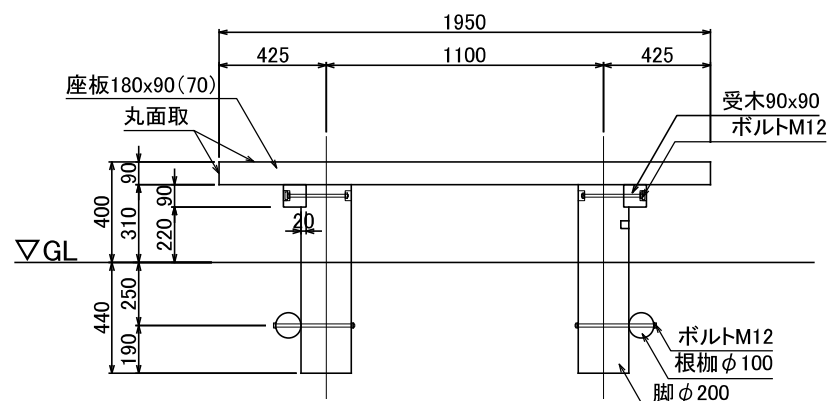
平面図



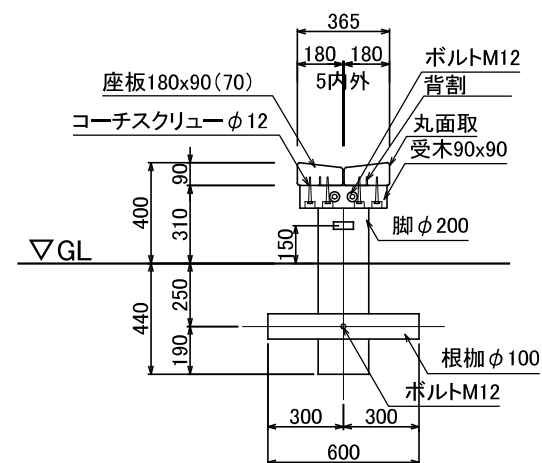
参考情報

脚・金物 鋼材, カチオン電着、粉体塗装仕上げ 濃灰色
座・天板 : 再生木材

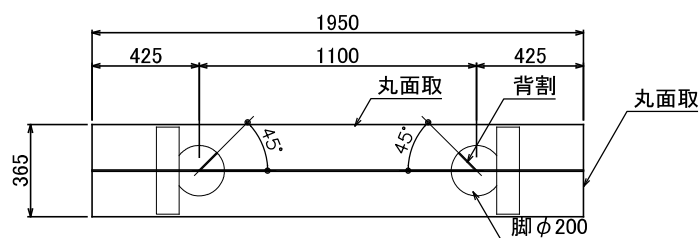
28. ベンチ 木製



正面図



側面図



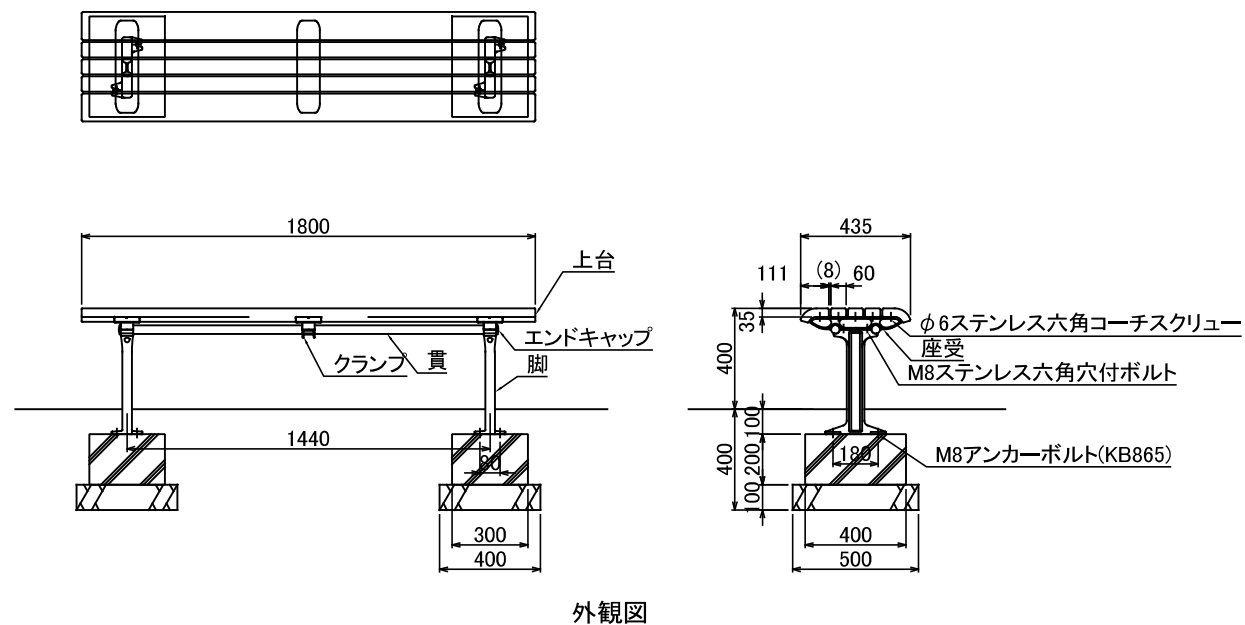
平面図

参考情報

木材 木材は杉材(角材はプレーナー加工、丸太材はローラー加工)を使用する。
 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
 木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
 性能区分JAS K4又はAQ1種とする。
 加圧注入方法はJIS A 9002Iによる。
 木材の見え掛り部は面取を行なう。
 脚・座板は背割を行なう。深さは、図示無き限り、木材の1/2までとする。
 木材の見え掛り部は木材表面保護塗料塗装とする。
 塗装色は、メープルとする。
 脚の地際部は上下10cmの範囲に防腐剤塗布とする。

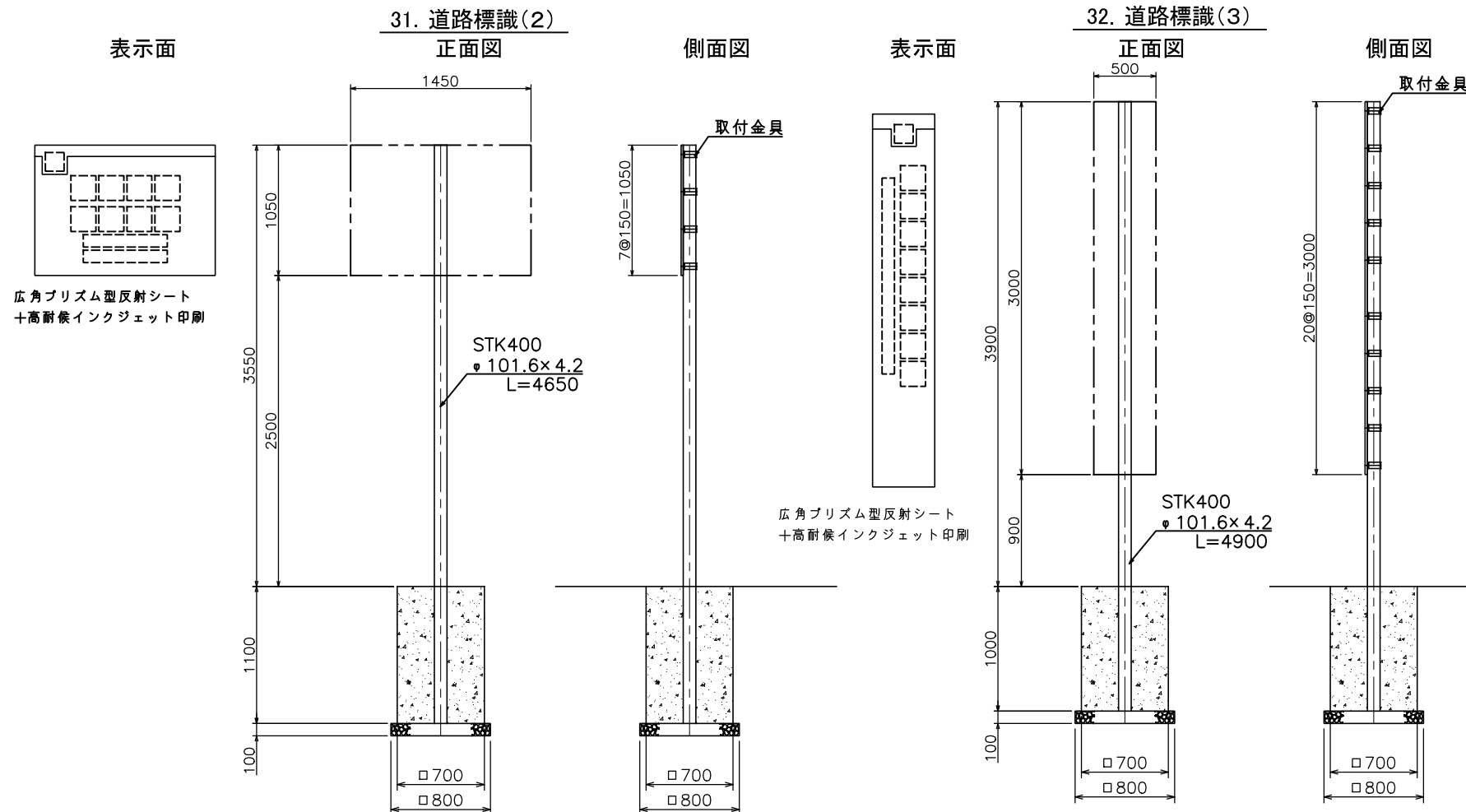
ボルト類 ボルト・コーチスクリューは、溶融亜鉛めっきとする。
 見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。
座堀 見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(下方向からを除く)

29. ベンチ 合成木材



参考情報

上台 : 鋼製木材
 座受 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装
 貫 : φ34アルミ押出型材 アルマイト仕上
 樹脂エンドキャップ付
 クランプ: アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装
 脚 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装
 質量 : 48kg



参考情報

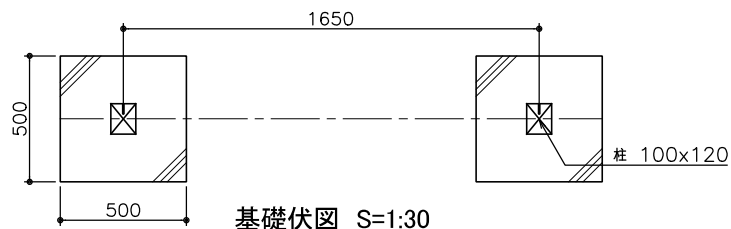
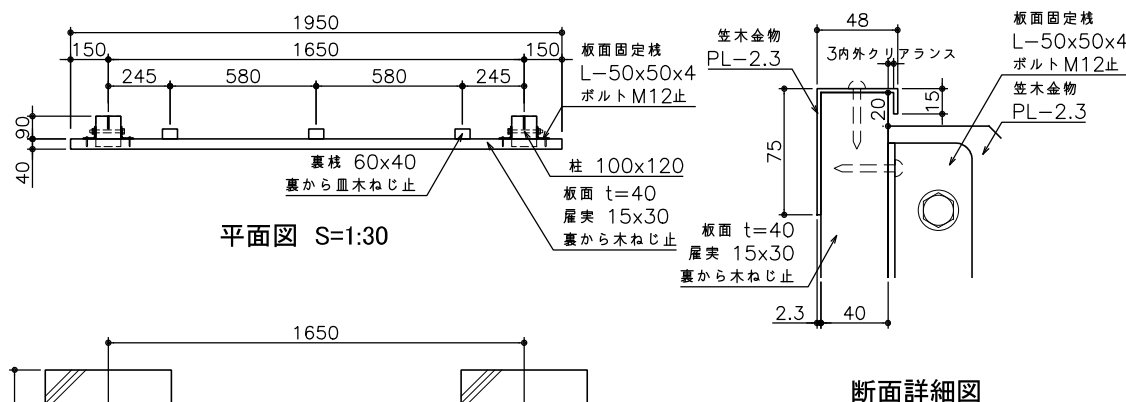
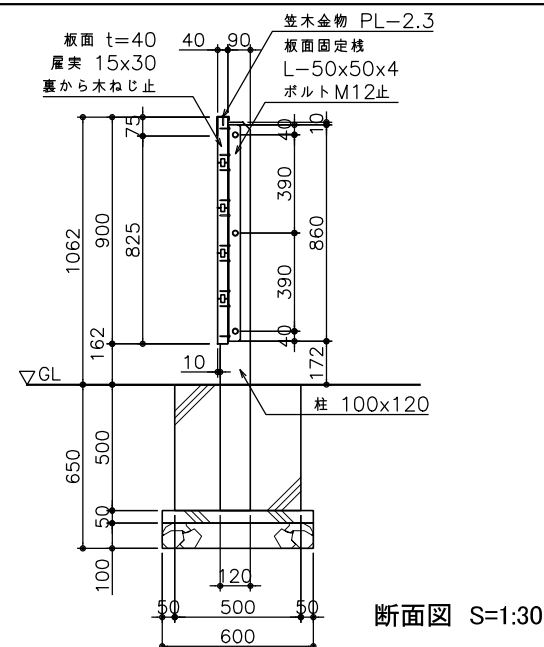
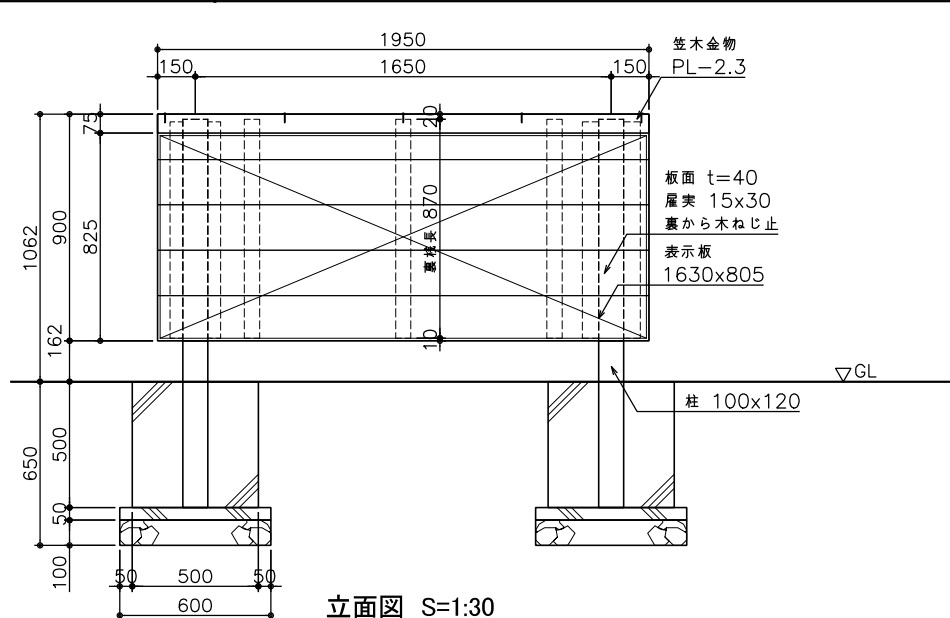
- (1) 規格は、鋼管をSTK400、鋼板、型鋼をSS400とする。
- (2) 支柱は、溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641) 処理後、化成処理を施し、SUSフレーク入りアクリルシリコン系樹脂 20μ 以上の焼付 (強制乾燥) 塗装仕上げとする。(塗装色: ダークブラウン)
- (3) コンクリートの設計基準強度は 18 N/mm^2 とする。
- (4) 表示基板はアルミ型材 (JISH4100 A6063S T5) のかん合式とする。
- (5) 表示板の表面は反射シート (広角プリズム型: 標準色) とし、印刷シート (高耐候インクジェット印刷) とする。
- (6) 表示板の裏面は支柱色と同系色塗装 (着色アルマイト) を施す。

(注記) 道路標識設置基準 (令和元年10月) に基づき下記書籍を参照
「道路標識設置基準・同解説」及び
「道路標識構造便覧」日本道路協会 (令和2年6月)

参考図26

34. 入口標識 記名標識(1)

S=1:30(A4)



断面詳細図

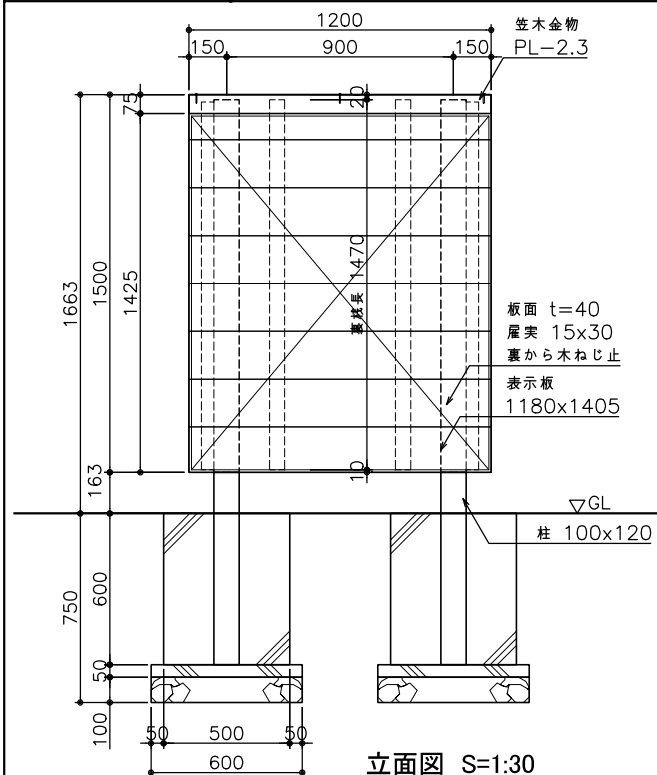
参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナ加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

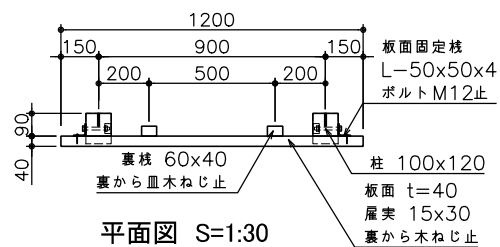
参考図28

35. 入口標識 記名標識(3)

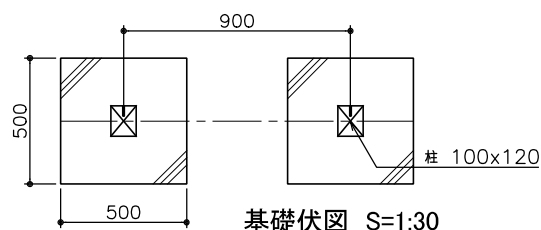
S=1:30(A4)



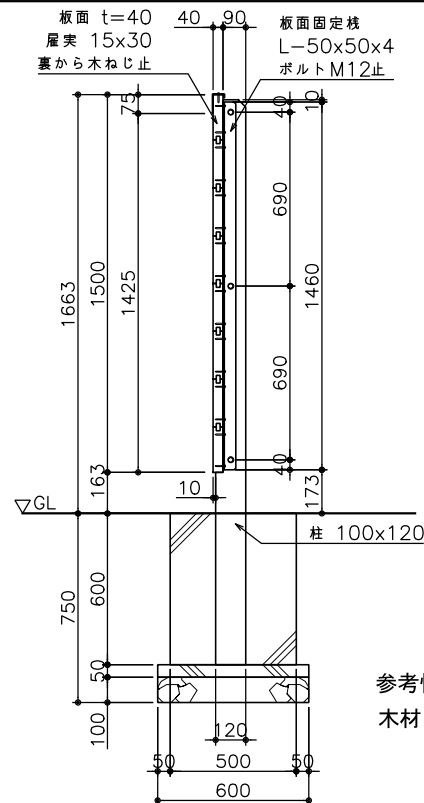
立面図 S=1:30



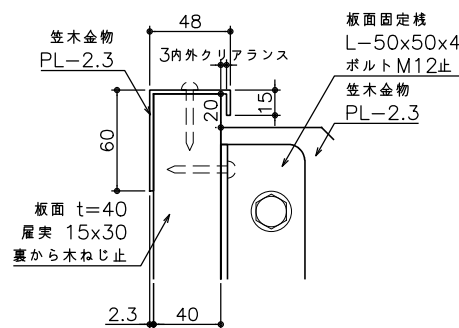
平面図 S=1:30



基礎伏図 S=1:30



断面図 S=1:30



断面詳細図

参考情報

木材

木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。

鋼材

木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。

座堀

柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。

印刷方法

アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。

鋼材

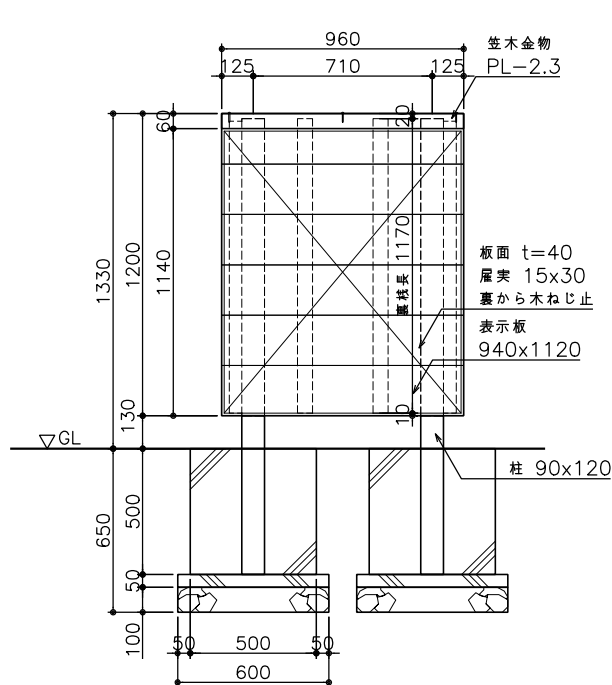
鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。

ボルト類

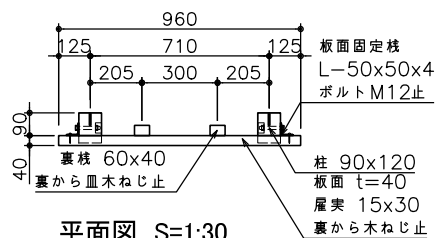
ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

座堀

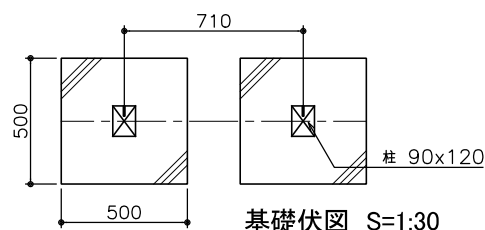
見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。
見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(下方向からを除く)



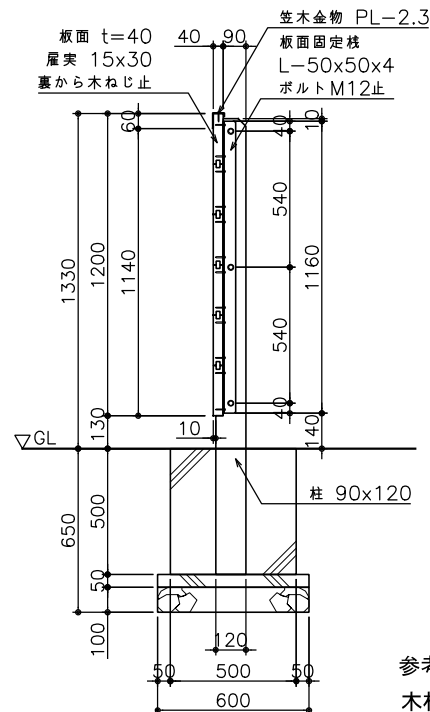
立面图 S=1:30



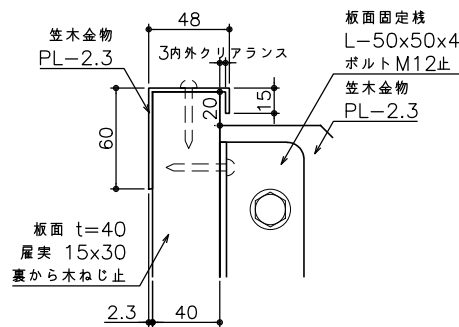
平面图 S=1:30



基礎伏図 S=1:30



断面图 S=1:30



断面詳細図

参考情報

木材

木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002Iによる。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行う。

木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。

盤面

アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。

印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。

鋼材

鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。

鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。

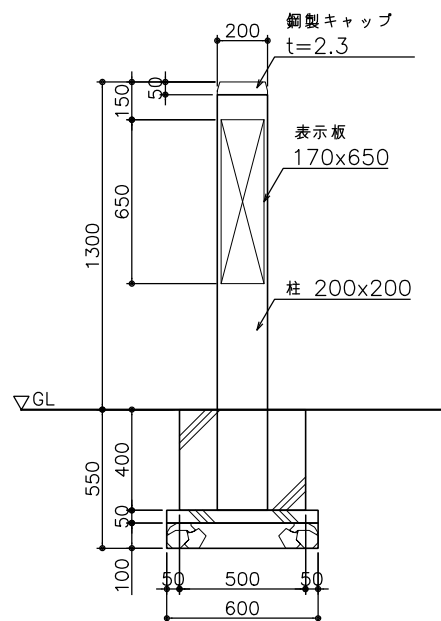
ボルト類

ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。

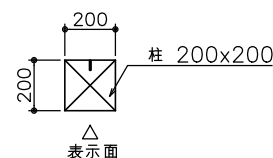
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

座掘

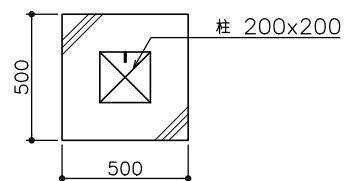
見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。
見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(下方向からを除く)



立面図 S=1:30



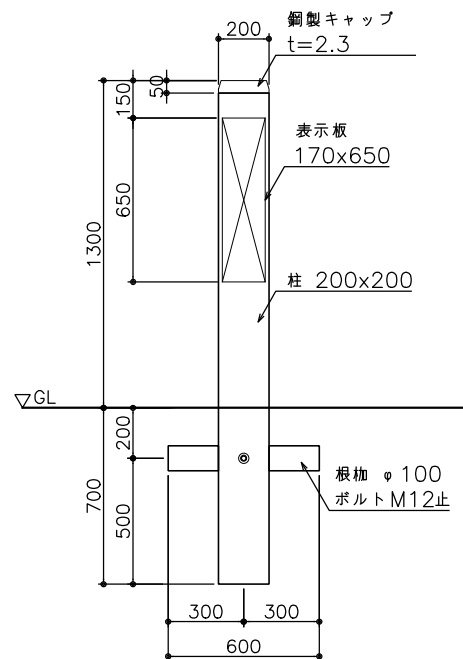
平面図 S=1:30



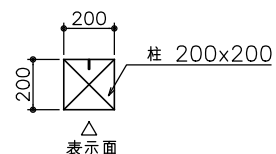
基礎伏図 S=1:30

参考情報

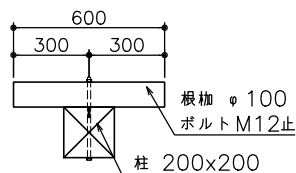
- 木材 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002Iによる。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面 アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類 木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。



立面図 S=1:30



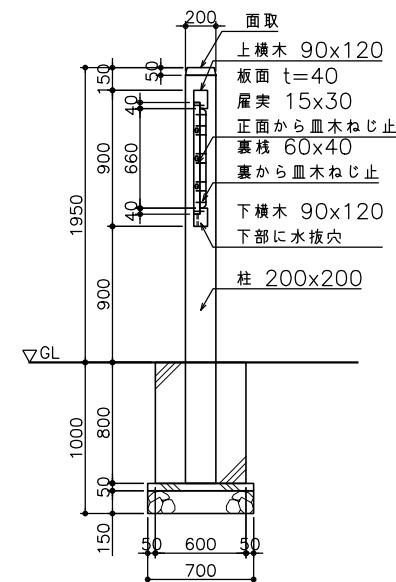
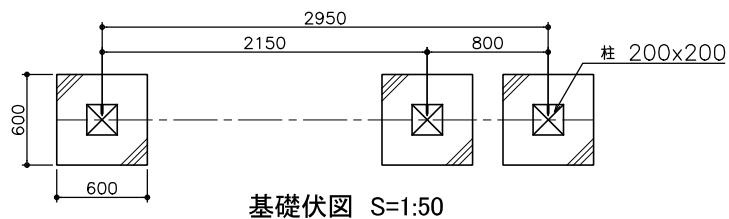
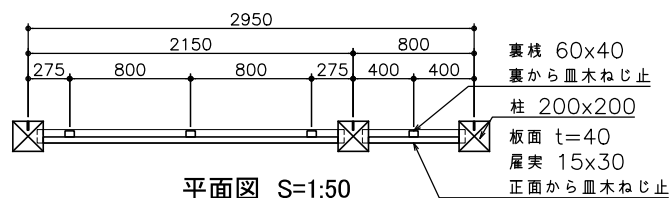
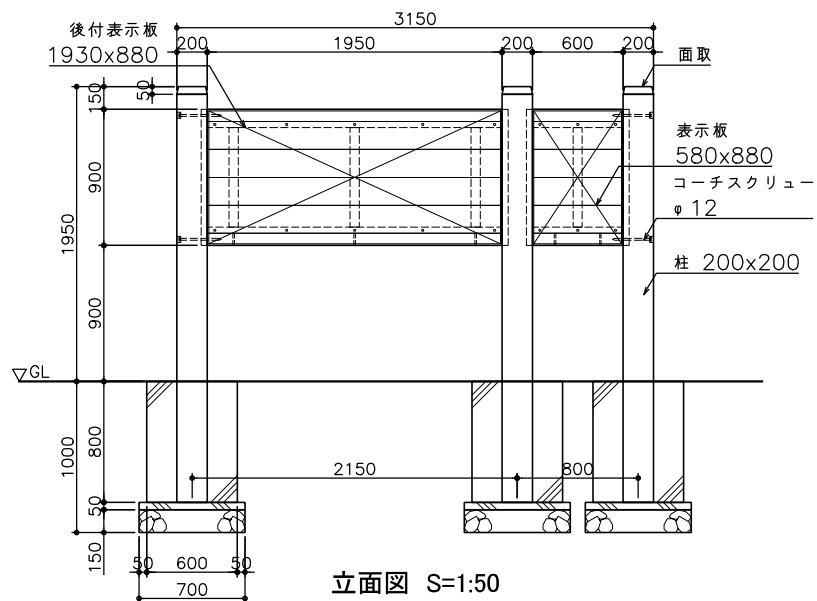
平面図 S=1:30



根柢平面図 S=1:30

参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工、丸太材はローター加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。



参考情報

木材

木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。

木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。

柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。

盤面

アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。

鋼材

印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。

鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。

ボルト類

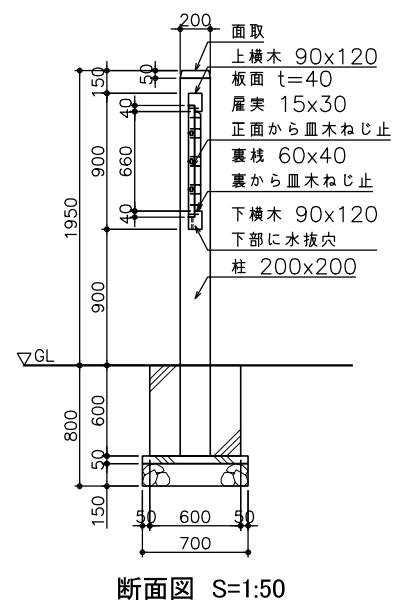
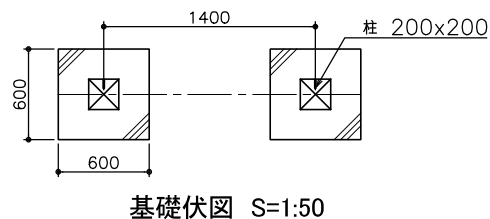
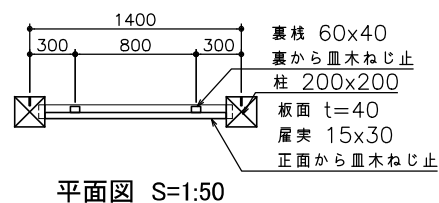
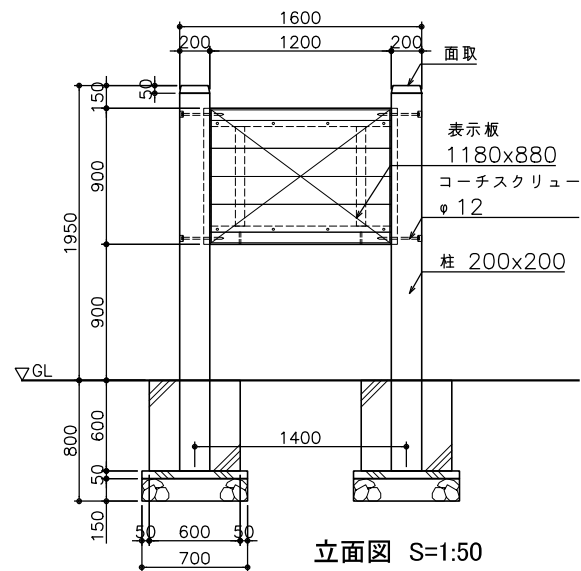
ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。

座堀

木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。

見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(下方向からを除く)



参考情報

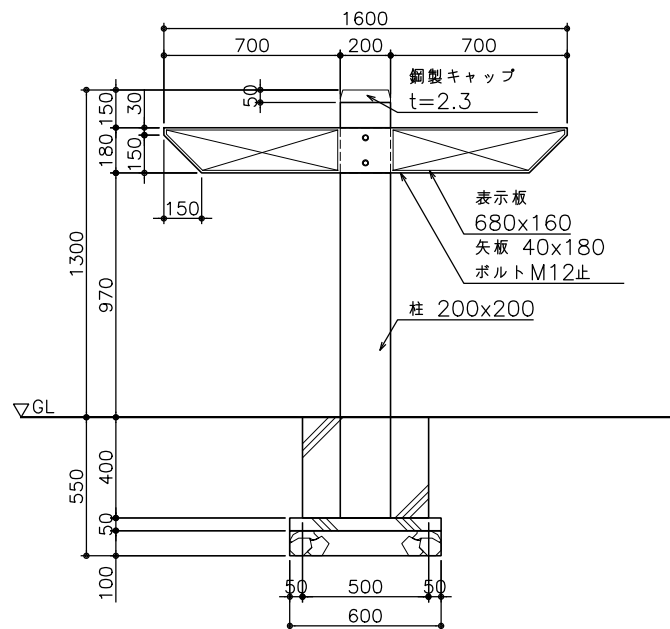
木材
木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコーンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。

盤面
アルミ複合板3mmの上に、アルミ2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷＋電子線硬化型樹脂コーティングとする。

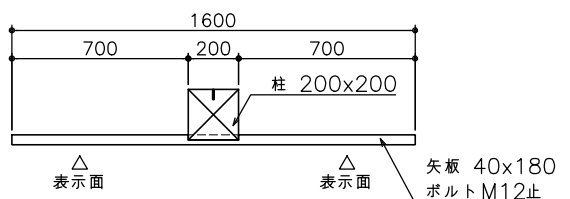
鋼材
鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。

ボルト類
ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

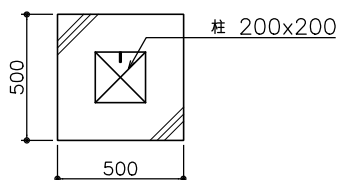
座堀
見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。
見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(下方向からを除く)



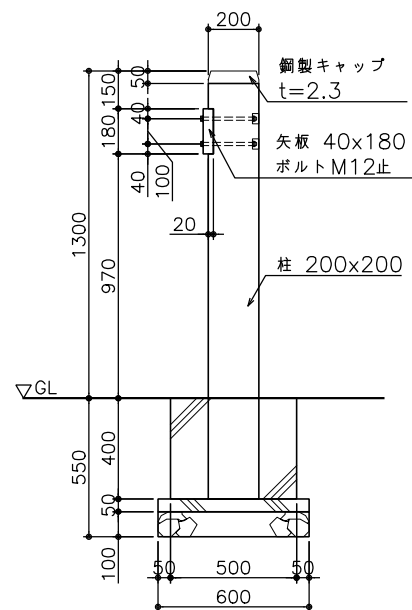
立図図 S=1:30



平面図 S=1:30



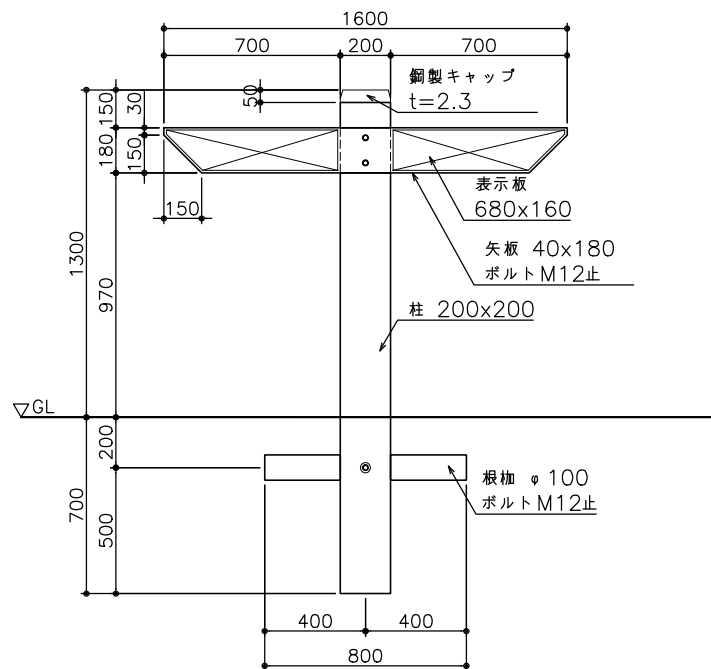
基礎伏図 S=1:30



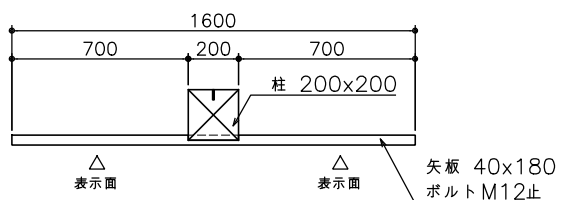
断面図 S=1:30

参考情報

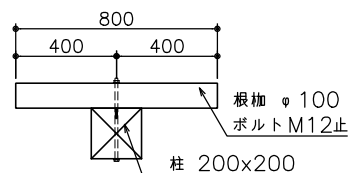
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。
- 座堀** 見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。
見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(下方向からを除く)



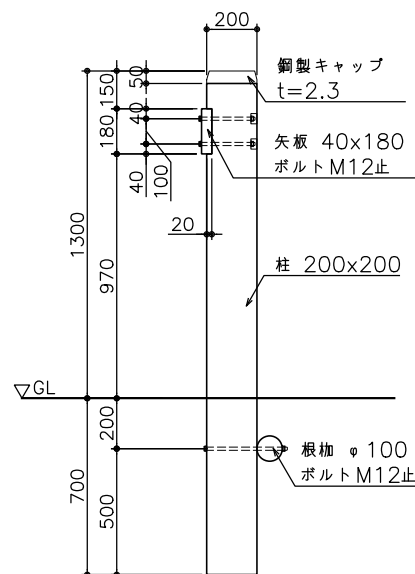
立図 S=1:30



平面図 S=1:30



根枷平面図 S=1:30



断面図 S=1:30

参考情報

木材

木材は杉材 (角材はプレーナー加工、丸太材はローラー加工) を使用する。
 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
 木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
 加圧注入方法はJIS A 9002による。
 本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
 加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
 木材の見え掛り部は面取を行なう。
 柱は背割を行なう。

木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。

柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。

アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。

印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。

鋼材

鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。

鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。

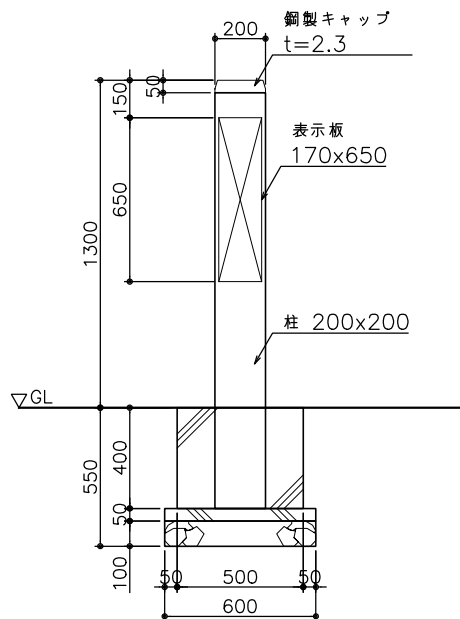
ボルト類

ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。

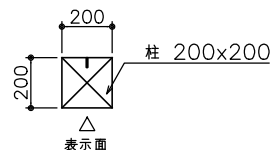
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

座堀

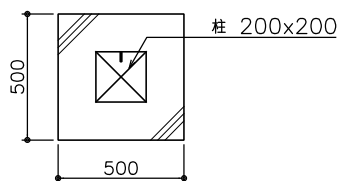
見え掛り (木材表面) のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。
 見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。 (下方向からを除く)



立図図 S=1:30



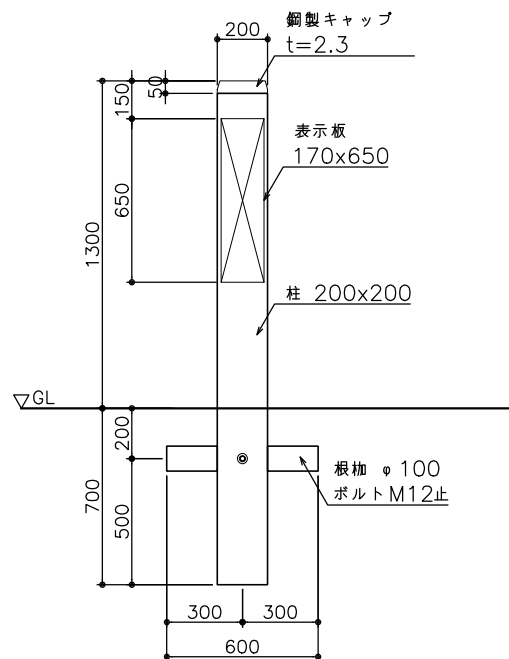
平面図 S=1:30



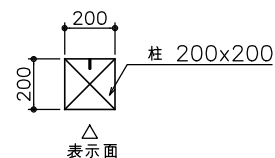
基礎伏図 S=1:30

参考情報

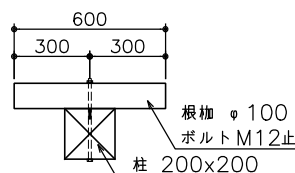
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** 木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。



立面図 S=1:30



平面図 S=1:30



根柵平面図 S=1:30

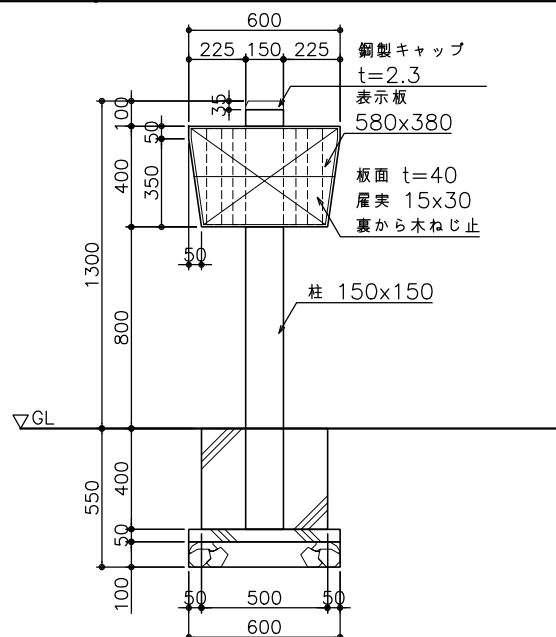
参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工、丸太材はローラー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

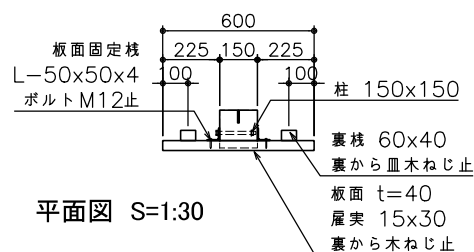
参考図38

45. 注意標識 RC基礎

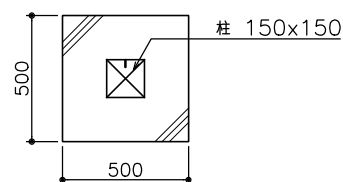
S=1:30 (A4)



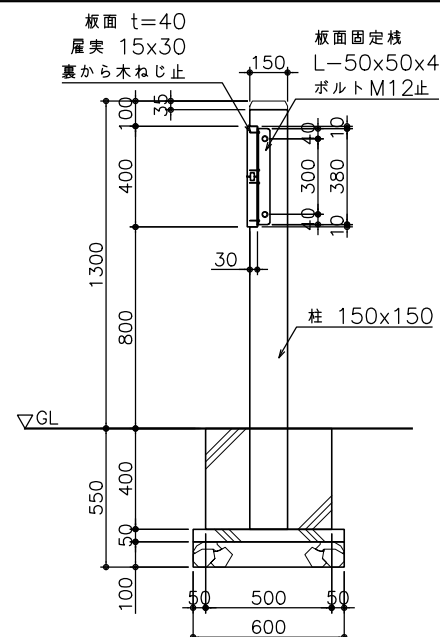
立面図 S=1:30



平面図 S=1:30



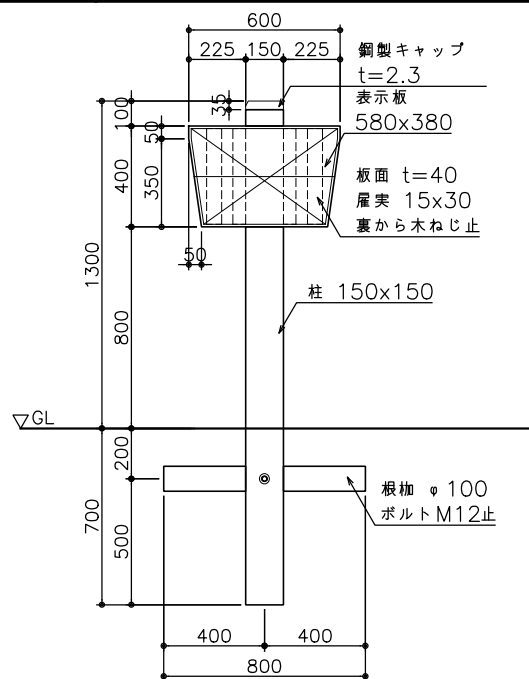
基礎伏図 S=1:30



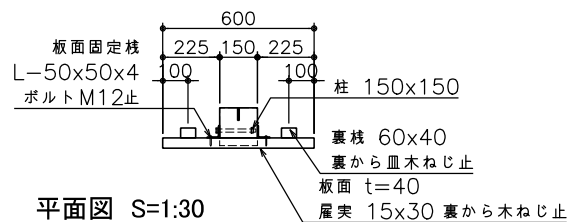
断面図 S=1:30

参考情報

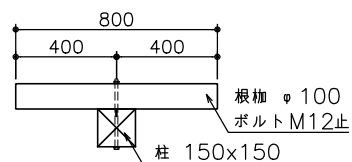
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。



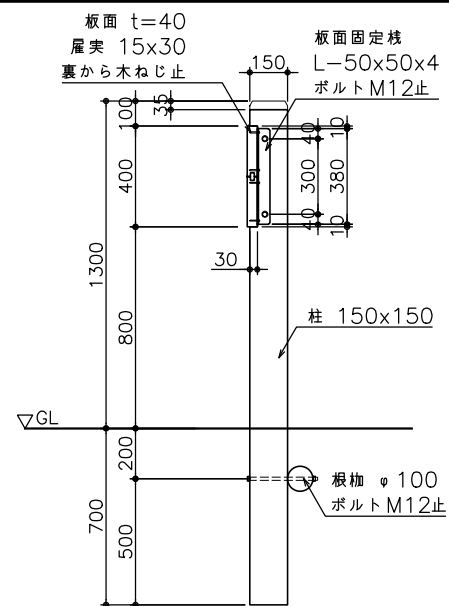
立面図 S=1:30



平面図 S=1:30



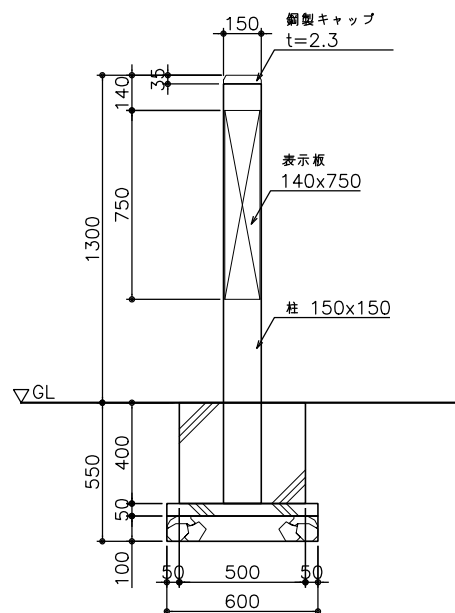
根枷平面図 S=1:30



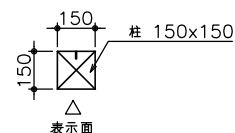
断面図 S=1:30

参考情報

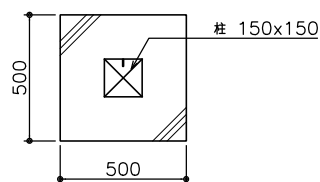
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工、丸太材はローター加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。



立面図 S=1:30



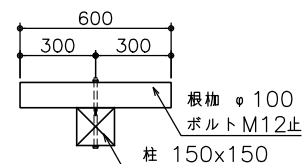
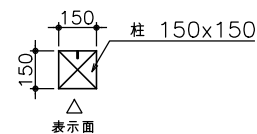
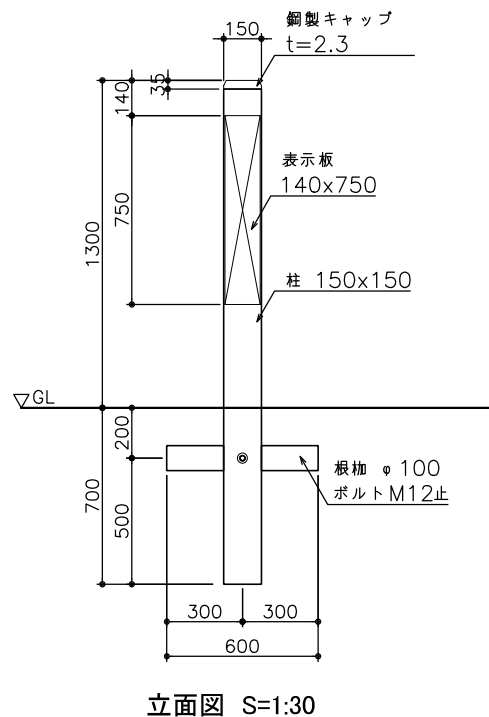
平面図 S=1:30



基礎伏図 S=1:30

参考情報

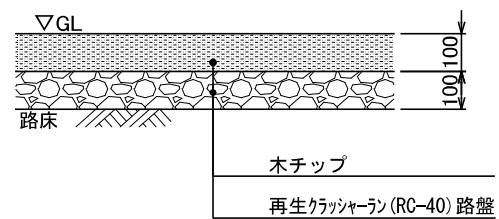
- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷＋電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** 木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。



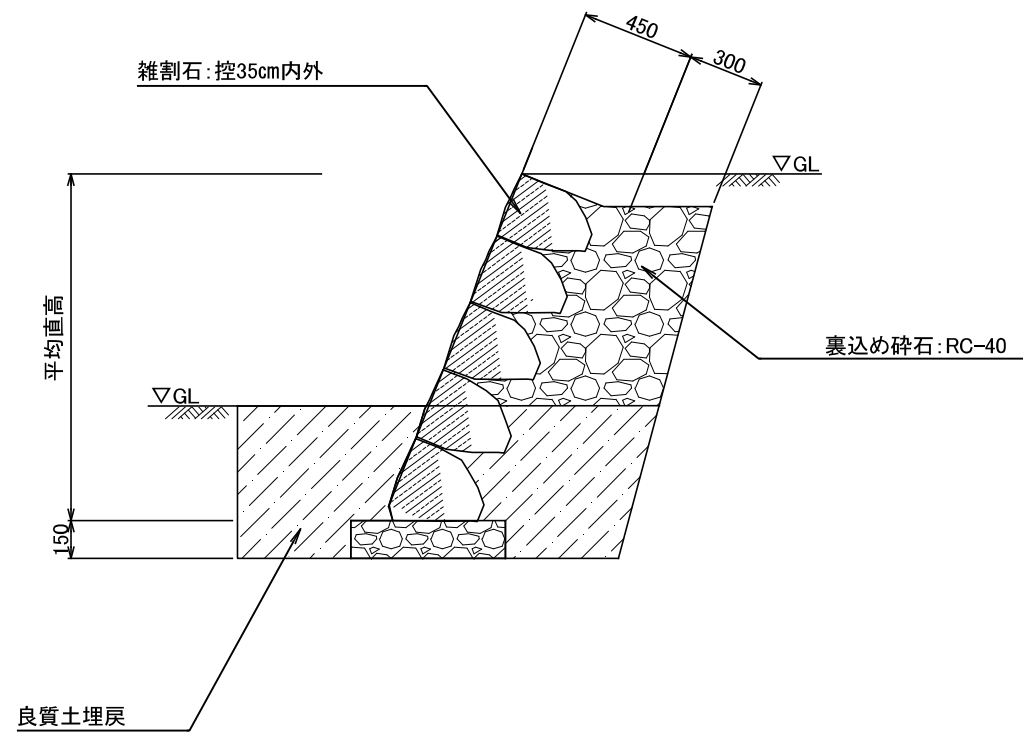
参考情報

- 木材** 木材は杉材(角材はプレーナー加工、丸太材はローリー加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、木材保存剤を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
加圧注入処理された保存処理木材の適用規格はJAS K4又はAQ1種とする。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
木材の見え掛り部は面取を行なう。
柱は背割を行なう。
木材の見え掛り部はシリコンとアクリルウレタンを含む木材表面保護塗料塗装とする。
柱の地際部は上下10cmの範囲にJWPA認定の無色の表面処理用木材防腐・防蟻剤塗布を行う。
- 盤面** アルミ複合板t3mmの上に、アルミt2mmを固定する。
印刷方法は、ダイレクト印刷+電子線硬化型樹脂コーティングとする。
- 鋼材** 鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、アクリルウレタン樹脂塗装とする。
- ボルト類** ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。

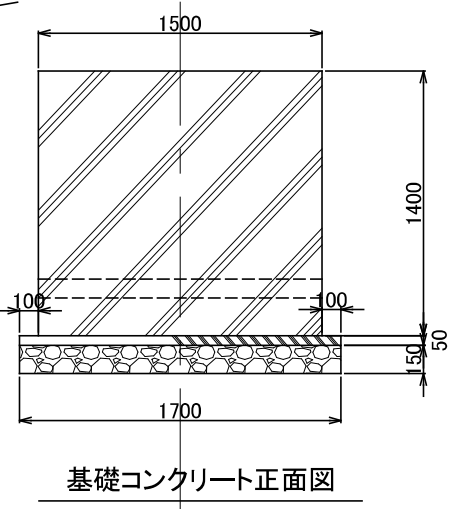
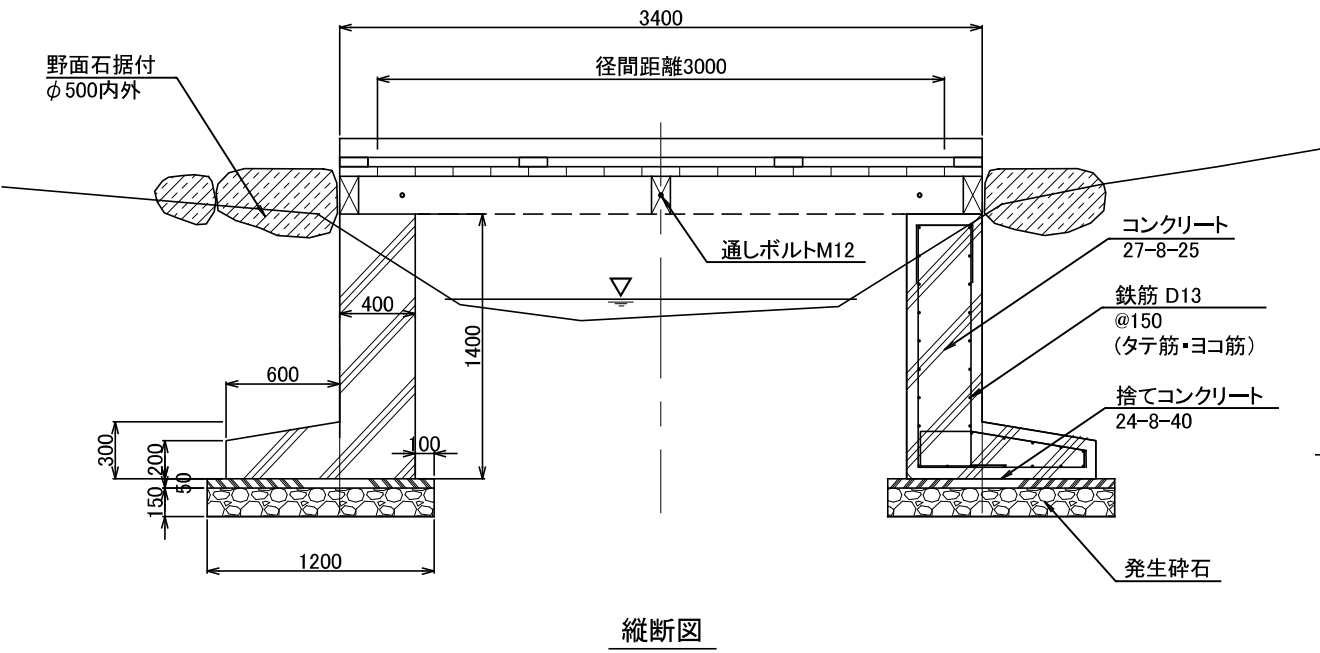
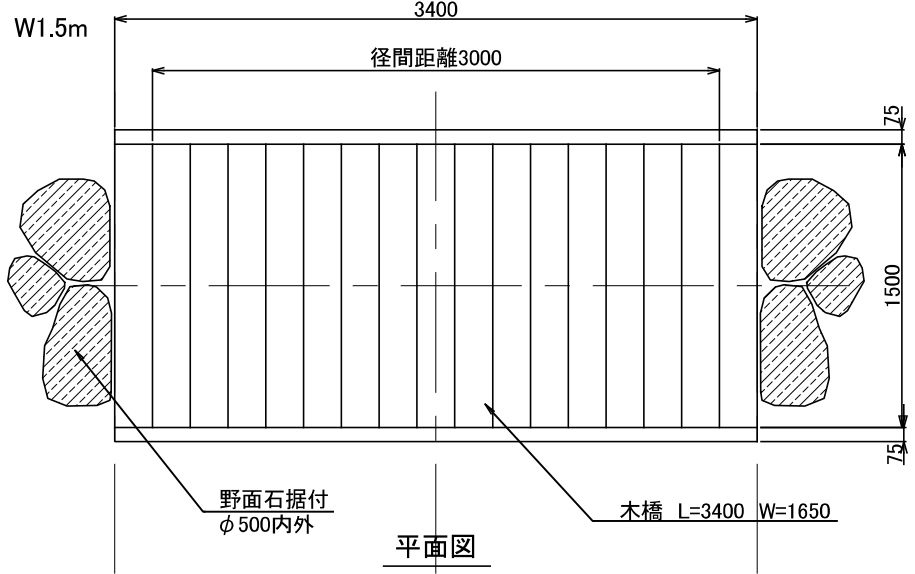
■木チップ舗装



■ 空石積



■木橋 L=3.0m W1.5m



■木橋 L=6.0m W1.5m

